

# 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

- ◇ 意見公募期間 平成28年2月23日～平成28年3月7日
- ◇ 意見提出状況 意見提出者：104名 提出意見数：203件
- ◇ 意見の内訳 ①全体的事項：9件、②基本的な考え方：5件、③推進・検証体制：1件、④基本目標：7件、⑤施策目標：137件、⑥KPIに関する事項：2件、⑦提案事項：42件

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
<b>【①全体的事項】</b>			
1	富の偏在、産業の偏在、人口の偏在という社会現象を生み出した背景としての社会構造、生産様式はいかなるものであるのか、私はこの特徴を分析するにあたっては、社会の土台としての経済構造、生産様式にまず着目することが肝要であると考えます。	国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルについて記載されています。そのため、国の動向をみながら本市の総合戦略を推進していきます。	
2	国家戦略としての非正規、正規雇用の格差是正がなされていない中、その課題解決を一地方自治体が求められるのは、自治体からすれば荷の重いものである。市の職員の奮闘を期待する。	ご意見のとおり非正規、正規雇用はわが国全体の問題でもあるため、国の総合戦略の動向をみながら本市の総合戦略を推進します。	—
3	若い人が、市内の高齢者が住んで良かったと思える市にしなければ将来不安につながる。施策の中で具体的な目標が示されていない。	基本目標Ⅰにおいて、子育て世代や若者、高齢者を含めた各世代が笑顔で暮らせるようなまちづくりをめざすこととしています。また、すべての施策目標について「KPI（重要業績指標）」を設定し、できる限り目標を可視化できるようにしています。	—
4	南あわじ市に住むことで何か特典（市民税・国保税の減額など）があるなど、住みたいと思う魅力あるまちづくりをすすめていただきたい。	本市においては、合併以降子育て支援施策に注力し、一定の成果を上げてきております。総合戦略においても、これらの施策を強化するとともに、若者や子育て世代が本市に「ずっと住み続けたい」と思えるよう、魅力あるまちづくりを進めます。	
5	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にて国が示している4つの基本目標を達成するためには、南あわじ市の地域創生総合戦略では達成出来ないように感じた。 地域の実情にあった基本目標を設定するとありますが、『実情≠現状』ではなく、実現可能な最大限の目標設定が必要ではないか。 地方にとって人口減少を食い止めることは、最も重要な事であり、それを実現するためには、広く市民の意見を聞き、もっと新たな取り組みが必要だ。	地方版総合戦略については、「まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）」において、「地域の実情に合った基本目標を設定する」としており、本市では「人口ビジョン（人口の現状と将来展望）」を踏まえ、5年後のあるべき姿として4つ基本目標を掲げております。 また、市民等の意見を幅広く聴くため、市民5,000人を対象とした「市民意識調査」や市内小中高大学生を対象とした「学生ゆめアンケート調査」、地方への移住意向を有する都市在住者1,000人を対象とした「Webアンケート調査」を実施するとともに、地域住民や関係団体、民間事業者に参加いただき、「南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民懇談会」を開催させていただき、幅広くご意見を伺いし、このたび「南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】」として掲示させていただいたところです。	—
6	●全般 淡路島3市が、ビジョン・戦略や施策を思い思いに考えるのではなく、3市が一体となって淡路島の活性化や持続可能なまちづくりを考える時期が来ていると思われる。 社人研推計では、淡路島3市の人口が2010年143千人から2040年94千人へ34%減少するほか、生産年齢人口も同時期に82千人から45千人へ45%減少すると見込んでいる。 また、地域経済・産業の動向は、淡路地域内総生産がH13年度5,453億円からH25年度4,094億円へ25%減少し、淡路地域内の民間事業所数についても、H13年10,224か所からH26年7,811か所へ24%減少していることに加え、今後の事業主・経営者の高齢化や人口の減少に伴い、地域の経済・産業規模の縮小が見込まれる。	淡路島3市による連携については必要と考えますが、まずは基礎自治体として取り組みを進めます。 また、いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	—
7	●全般 将来の人口や人口構成が、たとえば下記のように推移した場合における、歳入・歳出の規模、インフラの維持・更新等のシミュレーションを行っているのか。シミュレーションをしておかなければ、「いま何をすべきか」が明確にならないと思われる。 ①27頁の将来展望どおり	今後の公共施設のあり方、老朽化対策等については、今後の人口展望を踏まえ「公共施設統合管理計画」の策定を進めているところです。 また、本市の財政計画については、平成24年4月に策定しており、総合戦略策定後に見直しを実施する予定としております。 なお、平成27年国勢調査速報値と人口推計値に乖離があったことについては重く受け止め、総	—

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	②社人研推計どおり ③日本創成会議推計どおり ④シミュレーション1どおり ⑤シミュレーション2どおり ※ H27 国勢調査（速報結果）人口は46,948人と、H22 実施の国勢調査に基づく H27 時点の将来推計人口 47,178 人（社人研）と比較して 230 人の乖離が生じており、上記①～⑤より厳しい推移も予想される。	合戦略に取り組みます。	
8	●全般 全体ビジョンと個別戦略、施策、KPI 相互間の整合性や実現可能性を持たせることが必要である。整合性がないままではKPI 目標を達成してもビジョン実現に程遠い結果になるし、実現可能性が乏しいKPI でも計画初期段階から乖離が生じビジョン実現に至らないことになる。 また、島内3市でシェアを奪い合う構図では、淡路島自体の地盤沈下は避けられない。	総合戦略は、現状分析に基づく本市の抱える課題をもとに、基本姿勢、基本目標、施策目標を関連づけて策定してまいりました。また、KPI については、担当課として実現可能性を含めて検討を行ってきたものです。 本市のビジョン実現との整合性を常に意識しながら、今後各事業の進捗と、KPI の達成状況について評価、検証を行っていくこととしています。	
9	P2 4. 推進体制 若い人からはアンケートという形で意見を吸い上げているが、実際に計画策定や実践、検証といった場面において参画できる体制となっているか？ 何十年と先のことを考える計画なので若い人が中心となっていくことが肝要であると考えます。 また、全体を通してこれから何をやるか（お金がかかること）、ということしか見えない。まずは、現在の支出の状況を精査の上、削れるところは徹底的に削って、重点施策に振り向けることが重要ではないか。人口ビジョンを見れば既に選択と集中を行っていかねばならない状況にあると考える。 削るとなると多方面から強い反対があるかと思うが、50 年後 100 年後を見据えた改革を期待する。	本市の抱える課題解決に向けた施策について、行政だけで推進・実現していくことは困難であると考えています。いずれの施策についても、市民、事業者の皆様のご意見を踏まえつつ、その実施に際しての協働が伴って初めて効果があがってくるものと認識しており、実践や検証段階においても、それぞれの施策に応じた参画をお願いしたいと考えています。 支出の削減については、本市の行財政改革の取り組みの中で、効果の低い事業の見直しや削減に継続的に取り組んでおり、本総合戦略に位置づけられた施策・事業への選択と集中に努めてまいりたいと考えています。	—
<b>【②基本的な考え方】</b>			
10	第2章人口ビジョンの項目の中に人口移動の状況（P.7～P.8）について 特定の地区に市内の他地区より移住していることをよく聞くが、ひとえにインフラの不足だと思ふ。市の一部の地区において保育所・小学校・の閉校・統合や病院・商店不足により、厳しい生活を強いられている市民がいる現状を分かっているのか？ 兵庫県とか全国各地への人口流出という大きなことを考える前に先に挙げたような事例の改善に努めていけば自然と出生率が上がり、人口も増えていくと思う。市内の地区間の人口移動の対策も講じようとしていないのに、市全体の人口増加は無理である。 観光・古民家の活用というような風まかせのような施策に頼らず、インフラ整備に地道に取り組むべき。	本市においては、これまで整備してきたインフラの大量更新時期を迎えます。人口が減少する中で、すべてのインフラを短期間で更新するとともに、新たなインフラを整備していくことは、財政上不可能と考えられます。そのため、数十年単位で段階的に対応していくことが必要と考え、「公共施設統合管理計画」の策定を進めており、今後の施設のあり方、老朽化対策を検討しているところ。	—
11	地域の人口を増やす。	南あわじ市の将来人口は今後減少していくことが予測され、その減少に歯止めをかけるため、「合計特殊出生率の上昇」、「若者や子育て世代のU・J・I ターンの促進」を目標として取り組みます。	27
12	P.39 I-15 「人口減少や住民ニーズなどに対応した公共施設等総合管理」 社人研の将来推計によると、当市の「生産年齢人口」は2040年に47.8%と50%を割る一方で、「高齢者人口」は42.5%「年少人口」は9.8%と、従属人口（子どもとお年寄りを合算した人口）が52.3%と50%を超え、「従属人口指数」では100%を超える見通し。「生産年齢人口」の減少	本市においては、これまで整備してきたインフラの大量更新時期を迎えます。人口が減少する中で、すべてのインフラを短期間で更新するとともに、新たなインフラを整備していくことは、財政上不可能と考えられます。そのため、数十年単位で段階的に対応していくことが必要と考え、「公共施設統合管理計画」の策定を進めており、今後の施設のあり方、老朽化対策を検討しているところ。	—

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>は、地域における購買力や労働力を量・質ともに低下させ、地域のマーケットの縮小をもたらすことになる。また、「従属人口指数」の上昇は、納税者一人当たりの負担増をもたらす、現在提供されている行政サービスの維持が困難となる可能性を高めることになる。</p> <p>こうした中、すべての自治体は総務省から、平成 26 年度からの 3 年間で公共施設等総合管理計画の策定の要請を受けていると伺っている。計画策定にあたっては、平成の大合併の検証・総括など実態を踏まえたサステナブルな計画を期待する。</p> <p>また、公有資産の管理に関して、財政上の理由から PPP, PFI の活用案件が創出されることが想定され、その際には、地域内での資金循環の観点から地元企業及び地元金融機関等の関与が望ましいと考える。</p>	<p>ろです。</p> <p>また、公の施設の管理運営等については、指定管理者制度を含めこれまでも民間活力の導入を促進しており、引き続き検討してまいります。</p>	
13	<p>● 27 頁 人口の将来展望</p> <p>人口展望の第 2 の柱として、2025 年までに純移動半減、2050 年までに純移動均衡という目標を掲げているが、年間 2 百人程度の社会減が続く現状を鑑みれば、かなり高い目標と考える。</p> <p>「将来市外で働き、暮らしたい」と考える小中高生が 3～4 割存在するなか、大まかに言えば、高校卒業時の転出者が全員 U ターンし、それ以外の純移動も均衡させなければ達成できない目標であるが、それが可能な戦略や施策は総合戦略案に記載されておらず、再考を要すると思われる。また、島内 3 市で人口（子育て世代）を奪い合う構図では、淡路島自体の地盤沈下は避けられない。</p> <p>また、将来展望における合計特殊出生率を 2.15 と設定するのであれば、15～26 頁のシミュレーションの前提もこれに合わせた方がわかりやすい。</p>	<p>人口の将来展望については、国や兵庫県の展望を勘案しつつ、目標として設定しており、人口減少を克服するため、市の戦略として施策を展開します。</p> <p>特に、高校生や大学生等若者世代に対しては、ケーブルテレビや広報誌、大学との連携等を通して、本市での生活の魅力や産業・求人に関する情報の発信に取り組みます。</p> <p>あわせて、移住の受け皿として、空き家バンク制度を構築するとともに、マイホーム取得への支援にも取り組み、田舎暮らしに興味をもっている都会の方をターゲットとした住宅施策を推進します。</p> <p>合計特殊出生率について、P15～P19 に提示したシミュレーションについては、本市の人口に対する「自然増減」と「社会増減」の影響度を図るとともに、他自治体との比較を行うため、国の提示する手法に基づいて実施しました。そのため、人口の将来展望において本市が設定した合計特殊出生率とは乖離が生じています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>2) 田舎暮らしの促進(P40)</p> <p>4) 若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>5) 市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)</p>	27 40 42 49
14	<p>P23【大学卒業後の進路】</p> <p>就職を希望している大学生のうち、市内に就職したいと考えている回答者は 5%市外への就職希望理由の約 3 割は、「生活に便利な地域（都市圏など）で仕事をしたいから」</p> <p>私は、決して島内が都市部より不便とは思わないし、実際に感じていない。</p> <p>小・中・高・大学生の早期段階から南あわじ市は生活に便利で、住みよいまちであるという PR や教育による意識付けが必要。また、一旦進学や就職で島外へ出た人に対しては、「ふるさと情報」「就職情報」「不動産情報」「地元のイベント情報」等の情報発信が有効と考える。</p> <p>① 「本当の便利さ」や「長期的なライフプランを見据えた就職先の検討」のための PR・教育単なる都会への憧れだけで将来の就職先を考えていないか。</p> <p>② 島内で暮らすことのメリットの PR</p>	<p>南あわじ市出身者の市内での定住に向け、子どものころからの郷土愛の醸成や転出者への情報提供が重要であると認識しています。</p> <p>特に、高校生や大学生等若者世代に対し、ケーブルテレビや広報誌、大学との連携等を通して、本市での生活の魅力や産業・求人に関する情報の発信に取り組みます。</p> <p>また、情報発信手段等については、いただいたご意見を含めて効果的で効果的な方法について検討してまいります。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)</p>	23 49

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>自宅から会社まで車通勤でき、通勤ラッシュに巻き込まれることもなく通勤時間が短い。</p> <p>将来一戸建てを持つに際し、都市部より土地が安く購入できる。</p> <p>新婚世帯家賃補助や保育料無料等の制度が充実している。</p> <p>③ 島外へ進学・就職している方へふるさとの情報を発信</p> <p>情報発信は、メールで行う方が経費削減にもなり、有効と考える。</p>		
<b>【③推進・検証体制】</b>			
15	<p>市、商工会、金融機関等の情報交換を密にする場を設置する。</p> <p>各々単独では難しい企業誘致、商業施設誘致、観光推進、地場産業の活性化等の情報交換を密にして推進すれば良いと思う。</p>	<p>経済団体等との連携については、本年2月に近畿財務局神戸財務事務所の主催により、淡路島内の金融機関、経済団体、地方公共団体等による「地方創生に関する意見交換会」が開催されたところです。本市としても積極的に参加しており、今後の地方創生に寄与されるものと理解しております。</p>	—
<b>【④基本目標】</b>			
16	<p>南あわじ市で「人口減少、高齢化が進行している」ことが書かれている。死亡数が出生数を上回っていることもグラフで示されている。こうした現象が生じる理由についての考察、人生設計に於いて生まれる問題、そのいくつかの例を考えることも無駄ではない。</p> <p>それは、まず出産には婚姻が必要であるというシンプルな事実である。結婚には安定した収入が何よりも欠かせない。官製ワーキングプアが生まれる時代にあって、民間にあってはなおさら結婚を具体的に決意するだけの仕事や収入が結婚適齢期、出産可能世代に於いてどこまで確保されているのか、疑問点が多い。</p>	<p>若者世代や子育て世代を対象として、未婚者の結婚と定住の促進を行うとともに、企業誘致等雇用促進に積極的に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>3) 未婚者の結婚と定住の促進 (P41)</p> <p>4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42)</p>	41 42
17	<p>公務員の職場においてさえ、正規と非正規雇用のかい離が始まっている。民間企業では一層進行している。この状況は婚姻、出産、子育てという人生設計に於いて順調に計画が進むうえでの大きな障害となっていると考える。この戦略を考える前提としての障害の除去ということがどのようになっているのか。</p>	<p>婚姻、出産、子育てという人生設計の中で、女性が希望する分野で活躍し、男女がともに思いやりをもって助け合いながら暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>10) 女性が活躍する社会づくり (P36)</p> <p>基本目標Ⅳ</p> <p>3) 子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働体制支援体制づくり (P57)</p>	36 57
18	<p>「教(育)」・・・三歳児以上の保育料無料化等、他市に比べて手厚い施策は有り難い。</p>	<p>基本目標Ⅳ「子育てしやすいまち」(P56)にも記載しているとおり、子育て支援に関するさまざまな施策をさらに強化し、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざします。</p>	56
19	<p><b>【子育て支援について】</b></p> <p>昨今、社会保障といえば老人福祉支援に偏重気味に感じるが、今後、国や地方地域社会においては人口減少の問題が大きな課題となっているはず。とりわけ老人延命も大切ですが、人口増加・少子化対策に重点を置いた政策をとって戴きたい。</p> <p>具体的には、これまで育児支援といえば手当金の交付等、金銭の交付に目が行きがちだが、祖父や祖母の支援がある家庭は別として、祖父等親族の協力が得難い家庭は仕事と育児とのバランスが非常に厳しい現実に直面していると思う。</p> <p>お金をもらうより、人的な支援を望む場合が強い。手当金制度が成立・実施されて久しいが、その金銭の多くが効率的な育児に使われているかといえば疑問を感じる時もある。</p>	<p>基本目標Ⅳ「子育てしやすいまち」(P56)にも記載しているとおり、子育て支援に関するさまざまな施策をさらに強化し、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざします。</p> <p>また、老人クラブによる歴史・文化継承に向けた交流活動を通じて、世代間交流を促進し、子育て支援や郷土愛の醸成に取り組みます。</p>	56

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	つまり、その予算を人的支援(学童資格者・またはシニア層から育児適格人物)に創設・配分すれば、雇用と実務的な育児支援へとなると考えている。		
20	南あわじ市では3歳児から保育料無料や中学3年生までの医療費助成制度など、子育て支援に注力しており、子育て世代の住民としては、とてもありがたい。	基本目標Ⅳ「子育てしやすいまち」(P56)にも記載しているとおり、子育て支援に関するさまざまな施策をさらに強化し、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざします。	56
21	市の取り組みとして、子育てをする親として、子供の医療費や保育料の免除等手厚い助成があり、本当に助かっている。	基本目標Ⅳ「子育てしやすいまち」(P56)にも記載しているとおり、子育て支援に関するさまざまな施策をさらに強化し、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざします。	56
22	<p>●全般</p> <p>「地域創生」をめぐる最大の難題は、人口の減少に歯止めがかからないこと、なかでも出産可能年齢の女性の減少と東京一極集中が加速していること。したがって、本市にとって最大の課題である地域の人口減少を食い止めるには、いかに出産可能年齢にある若い女性に定着してもらうかという視点が最も重要である。</p> <p>しかしながら、「Ⅱ.働く場を得て、ずっと住み続けたいまち」と「Ⅳ.子育てしやすいまち」において、移住・定住の促進、雇用の創出を推進する施策や、子育て支援の促進施策は示されているが、「年齢階層別の人口増減数」から見て、特に流出の大きい若い子育て世代の女性をターゲットにした雇用創出の観点からの具体的施策は、残念ながら見当たらない。</p> <p>子育て世代人口の転出抑制及び転入促進は、淡路島全体として取組むべき最重要課題であり、3市の緊密な連携を望む。</p>	<p>婚姻、出産、子育てという人生設計の中で、女性が希望する分野で活躍し、男女がともに思いやりをもって助け合いながら暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えています。</p> <p>また、就農を希望する若者や特に女性を対象とした農業の担い手育成を進めています。</p> <p>淡路島三市の連携等いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>10)女性が活躍する社会づくり (P36)</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>12)農業の担い手確保と育成 (P46)</p> <p>基本目標Ⅳ</p> <p>3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働体制支援体制づくり (P57)</p>	36 46 57
<b>【⑤施策目標】</b>			
23	<p>耕作放棄田が増加する社会情勢に対して、地域おこし協力隊員を募集しているようであるが、2年、3年などの期限を切っていることに疑問を感じる。応募して下さった人には将来正規の市の職員に採用するような道を準備すべきだと思う。</p> <p>若者がUターン・Iターンできるよう住宅政策についても十分な配慮が必要。</p>	<p>地域おこし協力隊員の方々には、加工品開発や直売イベントへの参加・企画・実施を通じて、県内外へ農産物をPRすることなどをお願いしており、地域おこし協力隊の任期中に、経験や人脈を築いて、本市の一次産業への就業や起業につなげてもらいたいと考えています。</p> <p>また、空き家バンク制度の構築など、Uターン、Iターン向け住宅施策についても推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>1)地域特産品と地域外人材活用によるにぎわいの創出 (P40)</p> <p>2)田舎暮らしの促進 (P40)</p>	40
24	淡路市に比べて用地、交通の利便性等企業を誘致するのに工夫がいる。アンケートにもあるように企業誘致を進めていただきたい。合わせて、地元・農・漁・酪農・瓦など地域へ産業を成長させる事が必要。後継者、新規就労者への市の助成を充実、拡大し、経営がなりたつ支援が必要。	<p>本市においても、企業誘致の推進、一次産業、地場産業の活性化、後継者の確保等に取り組んでいます。</p> <p>なお、総合戦略では下記施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>10)農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産 (P45)</p> <p>11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進 (P46)</p> <p>12)農業の担い手確保と育成 (P46)</p>	42 45 46

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
25	市役所での障がい者雇用を進めて欲しい。又、企業に対しても積極的に働きかけてほしい。数字目標を明確にしてほしい。	障がい者に配慮された職場を増やしていくため、障害者雇用促進事業を推進し、当該事業に基づく「特例子会社設置数」を数値目標として施策を推進します。 また、市役所における障害者雇用については、法定雇用率を上回っている状況ではありますが、引き続き、障がいをお持ちの方も働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 9)障がい者が安心して働き続けられる場の提供 (P44)	44
26	東京オリンピックが決まり、様々なスポーツに対する関心も高まってくると思われる。南あわじ市でも文化体育館をはじめ、他のスポーツ施設を積極的に活用した様々な大会（野球、バレーボール、グランドゴルフ、ペタンク、トライアスロン等）を南あわじ市の宿泊施設、観光施設とセットでイベント開催していき、全国的な知名度を高めていく必要があると考える。	子どもから大人までが安全にスポーツに取り組める環境づくりを進めるとともに、SNSを活用して市の魅力を発信していきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅲ 4)見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信!(P51) 基本目標Ⅳ 15)子どもから大人までスポーツのできる環境づくり (P65)	51 65
27	Ⅳ-2 おむつ用ごみ袋の無料配布をぜひ実施していただきたい。小さな子供を連れて出かけるのは大変なので対象世帯に郵送してもらえるようなシステムにして欲しい。	いただいた意見を踏まえ、おむつ用ごみ袋の配付方法について今後検討していきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅳ 2)子育て世代の負担軽減及び再使用促進(P56)	56
28	Ⅳ-4 延長保育を実施する保育所を増やして欲しい。預かってもらえる時間が短ければ、なかなか働けず、延長保育のある保育所には途中入所も出来ないという声をよく聞く。	延長保育の現状や保育ニーズを踏まえ、「こども・子育て支援事業計画」に基づき、施策を推進します。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅳ 3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働支援体制づくり(P57) 4)安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上(P58)	57 58
29	南あわじ市内での企業誘致及び雇用の拡大 市内において優良と呼ばれていた企業の減少により、安心して地元で腰を据えて働く事が徐々に難しくなっており、若い年代の島外流出が止まらない。特に島内の就職先は選択肢が限られているように感じるので、淡路市が現在取り組んでいる積極的な企業誘致で南あわじ市内にも雇用先を増やすなり、若い年代へ島内の魅力を増やすように取り組んで欲しい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。また、既存の市内企業の流出抑制も重要であるため、情報収集を行っていきたくと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)	42
30	淡路島は自然豊かで観光地としても人気がある場所の一つである。その中で地元の物を活かしたアピールが必要だと思う。 現在では、特に食での宣伝が多いと思われるが、体験型といった取組みも魅力的ではないかと考える。例えば、農業体験などは、新鮮でリピート客も増えるのではないかと。 また、人口減少が懸念される中、これを機にここに住みたいと思っただけなら素晴らしい街づくりになると思う。	特産品の市場開拓や民間事業者が実施する体験型農業などを通じて市の良さをアピールしていきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅲ 4)見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信!(P51) 5)豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(P52)	51 52 54

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
31	就職で淡路に帰ってきたいと思っている人は多いと思う。しかし、南あわじ市の企業も島外に出ていると知る機会もなかなかないと思うのでUターン向けの情報をもっとアピールできれば、淡路で働く若者も増えていくのではないかな。	若者世代に市の魅力を発信するため、市広報誌やケーブルテレビによる情報発信を行います。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42) 基本目標Ⅲ 1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)	42 49
32	予想される南海トラフ地震に対する備えを万全にして欲しいと思う。避難場所の設置等は、地域住民はもとより訪れる観光客も大変安心感があると思う。	南海トラフ地震に備え、市内の建築物に対し簡易耐震診断を実施するとともに、自主防災組織と消防団の連携による活動を支援していきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 1)防災意識を高め、円滑な消防防災活動の推進(P31) 13)快適で住みやすいまちづくり(P38)	31 38
33	旧五色町が成功したような企業誘致は人口増に直結し、町の活性化に重要な事と思う。また、南あわじ市特産の農産物や水産物を活かした若者の働く場を増やして欲しい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。また、農畜水産物を活用した新商品開発に取り組む、6次産業化に対して支援を行っていききたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 13)農畜水産物の高付加価値化(P47)	42 47
34	雇用の拡大について(就職活動) 3年前に就職活動をしたが、淡路島での合同説明会の情報を事前に調べる際になかなか見つからず、少し苦労した。後日、説明会のチラシが新聞広告と共に配布されたが、インターネット上には説明会の概要とチラシのPDFファイルしか見つけられなかったため、前回の様子(写真やレポート)を載せたページがあればと思った。	若者世代に市の魅力を発信するため、市広報誌やケーブルテレビによる情報発信を行います。また、ハローワークと連携しながら就職情報の配信手段等についても検討したいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42) 基本目標Ⅲ 1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)	42 49
35	お客様からよく南あわじ市には若者の働く場所がない等の意見を聞くことが多いので、人口流出防止が必要不可欠と思われる。その為には企業誘致が必要で現在も国道沿いには誘致していただいているが、その他の地域(旧西淡・旧南淡)にも製造業等万遍なく誘致する必要があると思われる。高齢化に伴い、南あわじ市内でも休耕田が増加しているので、地場産業である農業を守り活用する為、行政が主導して農業の法人化及び六次産業化を推進することにより、雇用の創出が実現できると思う。	交通便利性など、企業が求める条件も考慮しながら企業誘致を進めていききたいと考えています。また、農畜水産物を活用した新商品開発に取り組む、6次産業化に対して支援を行っていききたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 13)農畜水産物の高付加価値化(P47)	42 47
36	鳴門大橋の無料化 四国地方の方が淡路島に気軽に遊びに来てもらえる、身近に思っただけ。	本市の課題として高速道路料金が高いことが挙げられるため、神戸淡路鳴門自動車道通行料金等の格差解消に取り組んでいききたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅲ 2)観光交流人口の拡大(P50)	50

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
37	もっと地場産業を盛りあげて欲しい。たまねぎだけでなく、瓦や乳牛等これらの物をもっとアピールしてほしい。地産地消を目指してほしい。	淡路瓦利活用の奨励促進や淡路手延素麺ブランド強化など、地場産業の普及促進に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表する地場産業の普及促進 (P46)	46
38	南あわじ市では、保育料の無料化等が実施されていたり、出産・育児に関して、淡路市・洲本市に比べ子育て支援が充実していると思う。子供向けの公民館活動等、勤務地が南あわじ市なら参加できればいいと思う。子育て支援において、無料開放のもう少し大きい安全な公園が必要ではないかと思う。	親子参加型わんぱく塾など、親子で参加できる講座の実施により、親子のふれあい、子育て世代のネットワークづくりの支援等を推進します。 また、子ども向けの公民館講座については市内在住等に関わらず申込みいただくことは可能となっております。 一方、市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅳ 7)安心して学べ、安全に子育てできるコミュニティづくり (P60)	60
39	少子高齢化が加速している同市において、生産年齢人口の増加を図ることは急務であると考えられる。高卒後の進学時に、ほとんどの学生が島外に出ていくのが現状であり、新卒者を島内に呼び戻し、家庭を築き、定住してもらう為に、まずは雇用の創生が必要であると思う。 企業誘致に今まで以上に力を入れ、同市において新規起業しやすい環境を作ることで、雇用も増え、労働者が魅力を感じる地域が作り出せると思う。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、新卒者が島内における就職情報等を得られるように、市の広報誌やケーブルテレビによる情報発信に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42) 5)市民サービス向上につながる情報提供（就職編） (P42) 基本目標Ⅲ 1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信 (P49)	42 49
40	淡路島の玉ねぎをはじめ、三原平野では農業が盛んにおこなわれている。しかしながら、農業の生産性は低いと思われる。 また、農業従事者の高齢化及び減少に伴い、耕作放棄地の増加も懸念される。この為、農地を集約して大規模化を図る事で、農作業の効率化、生産性の向上に取り組む必要があると思う。これにより、農業生産法人等の参入も進み、雇用も創出され、流入人口の増加、若返りに寄与するものと見込まれる。	農地の集約化や生産基盤の整備等による農業経営の効率化を推進します。また、若い世代や女性をターゲットにした農業の担い手育成への取り組みについても推進します。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 10)農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産 (P45) 12)農業の担い手確保と育成 (P46)	45 46
41	子育て支援の強化、学校関係との更なる連携を図り、若年層が当地に定着する事の魅力発信すれば、地域活性化に繋がるものと期待される。	子育て世代の負担を軽減し、子どもの教育振興を図るとともに、吉備国際大学との連携を強化した取り組みを推進します。 また、本市の魅力発信にも取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 6)吉備国際大学と連携した地域おこしの促進 (P43) 基本目標Ⅲ 1)まちの味力向上にむけた若者世代への情報発信 (P49) 基本目標Ⅳ	43 49 59



## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働支援体制づくり(P57) 6)保護者の経済的負担を軽減し、子どもの教育振興を図るまちづくり(P59)	
42	高齢者が増加し、農業従事者が減っており、田畑を持っていても維持するのが難しくなっている ので、そういった土地を上手く活用する取り組みをして欲しい。	農地の集約化や生産基盤の整備等による農業経営の効率化を推進します。また、若い世代や女性 をターゲットにした農業の担い手育成への取り組みについても推進します。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 10)農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産(P45) 12)農業の担い手確保と育成(P46)	45 46
43	雇用の拡大が見込める製造業の誘致をもっと推進する。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、既存の市内企業の流出抑制も重要であるため、情報収集を行っていきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)	42
44	大型観光施設の誘致を行う。観光客向けの飲食店や商店が増えれば、地域の活性化に繋がる。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、商店街等で増える空き家を活用した起業等への支援を行うとともに、無料Wi-fi等を整備 することで、観光交流人口拡大を図り、地域の活性化に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 7)起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進(P43) 基本目標Ⅲ 2)観光交流人口の拡大(P50)	42 43 50
45	人が集まる仕組みを地域一帯で考える。 ・・・各企業で抱える悩みを、従業員を通してアンケートを募り討論する場を設ける。  地元の良さを地域全体で構想を立てる。 ・・・食の文化、伝統の文化をもう一度見直し、地域ぐるみで考える。	地域のことを話し合う場として、市内21地区で「地域づくり協議会」が発足しており、まちづ くりを地域で支え合う体制づくりや若者の意見や考えを地域づくりへと活かす場の創出をめざし て取り組みます。 また、いただいたご意見(・・・以下)については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 11)地域力を創造するコミュニティの構築(P37)	37
46	現存する公共施設の有効活用 ・・・工業団地をつくる。 ・・・企業誘致をする前に、空き家の有効活用を促し、地元で仕事ができる仕組みを創る。	市内には、南あわじ市企業団地(残り1区画、約1万㎡)があり、当該企業団地等小学校の跡地 などの遊休地や未利用地を活用した企業誘致に取り組みます。 また、商店街等で増える空き家を活用した起業等への支援にも取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 7)起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進(P43)	42 43

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
47	「職（仕事）」・・・雇用の創出。 伝統産業を大切にすると共に、新しい産業（企業）の誘致を積極的に行ってほしい。進出の障害となっている明石海峡大橋、鳴門海峡大橋の通行無料化を淡路三市で連携し是非実現してほしい。 現存する企業支援事業の他、南あわじ市自らも積極的に雇用の創出を行ってほしい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、淡路瓦利活用の奨励促進や淡路手延素麺ブランド強化など、地場産業の普及促進に取り組みます。 あわせて、神戸淡路鳴門自動車道通行料金等の格差解消にも取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表する地場産業の普及促進（P46） 基本目標Ⅲ 2)観光交流人口の拡大(P50)	42 46 50
48	結婚、出産等で主婦となっていた女性の社会復帰を支援する施策を検討、実施してほしい。	婚姻、出産、子育てという人生設計の中で、女性が希望する分野で活躍し、男女がともに思いやりをもって助け合いながら暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 10)女性が活躍する社会づくり（P36） 基本目標Ⅳ 3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働体制支援体制づくり（P57）	36 57
49	女性がフルタイムで働ける環境作りの施策（例えば学童保育の充実等）を検討、実施してほしい。	学童保育の現状や保育ニーズを踏まえ、女性が希望する分野で活躍し、男女が思いやりをもって助け合いながら魅力ある地域づくりをめざします。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 10)女性が活躍する社会づくり(P36) 基本目標Ⅳ 3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働支援体制づくり(P57) 4)安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上(P58) 12)子どもたちが放課後や休日に安心して過ごせ、体験学習等を通じて創造力や協調性を養うまちづくり(P63)	36 57 58 63
50	小学校の統廃合が進んでいるが、廃校となった校舎跡地の有効利用について、南あわじ市にも積極的に携わってほしい（市営住宅、観光施設、医療施設に転用する等、住民とも議論、連携して）。	小学校の跡地などの遊休地や未利用地を活用した企業誘致に取り組むとともに、既存公共施設の転用や統廃合等あり方、老朽化対策等の検討を進めます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 15)人口減少や住民ニーズなどに対応した公共施設等統合管理(P39) 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)	39 42
51	企業誘致も重要だが地域産業（瓦産業）の事業規模の維持・拡大やまた人材育成による、産業の継承にも力を入れてほしい。将来の雇用にもつながると思う。	淡路瓦利活用の奨励促進や淡路手延素麺ブランド強化など、地場産業の普及促進に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。	46

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		基本目標Ⅱ 11) 淡路瓦や淡路手延素麺を代表する地場産業の普及促進 (P46)	
52	南あわじ市でもっと雇用の場を増やし、女性、若者の都市部への流出を食い止める。なぜ出ているのか？住みやすく、医療、教育、福祉施設が整っている、買い物に便利、治安がいい、自然環境に恵まれていないからだと思う。これらが達成できる市に近づけばいい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、女性が希望する分野で活躍できる地域づくりを推進します。 これらの取り組みと合わせて、コミュニティバスの運行など生活利便性の確保についても継続的に取り組んでいきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 10) 女性が活躍する社会づくり (P36) 13) 快適で住みやすいまちづくり (P38) 基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42)	36 38 42
53	観光について、南あわじ市は観光では他市にはない良い所がたくさんある。もっと PR することで、人が集まる。集客力のある観光イベントを立ち上げ、市、観光協会、個人が一体となる。	若者が参加したいと思えるイベントを開催するとともに、自然や文化、特産品の魅力などを通じて市の良さを発信していきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅲ 2) 観光交流人口の拡大 (P50) 4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信! (P51) 5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進 (P52)	50 51 52
54	企業雇用の充実 ハローワークに行っても募集が少なかったり、基本給が少なかったりと雇用条件が悪く、条件を少しでも良くして淡路島の活性化に繋げる。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、ハローワークと連携した就職情報の発信についても検討したいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42) 5) 市民サービス向上につながる情報提供 (就職編) (P42)	42
55	淡路島島民の橋代無料化 大型施設(スーパーやレジャー関係)が充実していないので休日に島外に行く機会が多くなるが、高速料金や橋代がかかる為、どこに行くのにもお金がかかり不便。島民の橋代無料化を行うことで、淡路島で生活することの不便さを解消し、島外への転出を防ぐ。	本市の課題として高速道路料金が高いことが挙げられるため、神戸淡路鳴門自動車道通行料金等の格差解消に取り組んでいきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅲ 2) 観光交流人口の拡大 (P50)	50
56	淡路島は阪神間に近く通勤、通学やレジャー等に出掛けやすいが、ネックとなるのが明石海峡大橋の通行料金である。人口流出を防ぎ住みやすい街づくりするためにも、橋代無料化を実現させて欲しい。	本市の課題として高速道路料金が高いことが挙げられるため、神戸淡路鳴門自動車道通行料金等の格差解消に取り組んでいきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅲ 2) 観光交流人口の拡大 (P50)	50
57	高齢化や人口流出に伴い、空家が非常に多くなってきていると思う。治安や安全面でも不安であり、ますます住みづらくなると思われる。空家を再利用し、島外からの移住者に安く貸し出したり、ショップやカフェに利用する等、町の活性化を図っていく必要がある。	空き家バンク制度の構築など、Uターン、Iターン向け住宅施策について取り組みます。 また、空き家を活用した起業等への支援を行い、地域の活性化に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。	40 43

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		基本目標Ⅱ 2) 田舎暮らしの促進 (P40) 7) 起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進 (P43)	
58	最近空家が多くなってきているので、空家をリノベーションして古民家カフェや、雑貨店として利用する。雑誌や新聞に掲載されれば、島外からの観光客も増え、地元の雇用も増えるのではないかと。	空き家を活用した起業等への支援を行い、起業家を地域で育ていける場所の提供に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 7) 起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進 (P43)	43
59	田舎で子供をのびのびと育てたいと考えている方や、定年後の生活をのんびり田舎で暮らしたいと考えている全国の方に、移住を勧めていく。 淡路島は温暖で気候も良く、おいしい食べ物もたくさんあるなど、住みやすい環境をアピールする。移住するにあたって畑を提供するなど、何か淡路島ならではの特典も付けたい。	空き家バンク制度の構築など、田舎で暮らしたいと考えている方をターゲットにしたUターン、Iターン向け住宅施策について取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 2) 田舎暮らしの促進 (P40)	40
60	最近子供たちが交通事故や事件に巻き込まれる事が増えてきているので、地域ぐるみでの見守り体制や声掛けを強化すべきではないかと。	子どもたちを交通事故や犯罪から守るために、引き続き「地域のおじさん・おばさん運動（見守り体の結成や子どもたちへの声かけ運動を実施）」を推進するとともに、こどもあんしんネットによる情報提供や防犯ブザーの支給等に取り組みます。 また、地域のことを話し合う場として、市内 21 地区で発足した「地域づくり協議会」においても、子どもたちの見守り運動への参加等体制づくりを推進します。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 11) 地域力を創造するコミュニティの構築 (P37) 基本目標Ⅳ 5) 子どもたちを災害・犯罪から守るまちづくり (P58)	37 58
61	島外に進学した学生らは卒業後、市内に戻り定住する割合が減少している。 企業誘致も大切であるが、若者が住みやすく、帰ってきたいと思える町づくりをする為に、大規模なレジャー施設、ショッピングモールの建設など考えて頂きたい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42) 11) 淡路瓦や淡路手延素麺を代表する地場産業の普及促進 (P46) 基本目標Ⅲ 2) 観光交流人口の拡大 (P50)	42
62	P42.Ⅱ-4 最近では大学進学する若者が多いと思うが、就職したい企業、就職できる企業が少なく地元へ帰ってきて定住することが難しいと思う。他県、他都市からの企業誘致とともに地元産業、企業の活性化にも力を入れて欲しい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、既存の市内企業の流出抑制も重要であるため、情報収集を行っていきたく考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42) 11) 淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進 (P46)	42 46

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
63	<p>P24、P46. II-12</p> <p>南あわじ市への移住の可能性のあるのが5割と高い。</p> <p>都会の方で、田舎暮らしに興味をもっている方が試しに一週間、一カ月、週末だけなど、移住体験をできるような制度はどうか。農業に興味のある方にも同じような制度があればいいのでは。</p>	<p>空き家バンク制度の構築など、田舎暮らしに興味をもっている都会の方をターゲットとした施策について取り組みます。</p> <p>あわせて就農を希望する若者が不安なく就農へ踏み切ることができるよう、農業の担い手育成を促進します。</p> <p>また、移住体験等を含め、いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>2) 田舎暮らしの促進(P40)</p>	40
64	<p>P23、アンケート調査【南あわじ市の魅力】について</p> <p>南あわじ市には多くの特産物があり、最近ではメディアにもたくさん取り上げられていて素晴らしいものだと思う。</p> <p>県外から訪れる方も地元食材を使った食事をメインに来られる方も多し。食事をした後に私が友人等から「どこか遊べる施設はない？」と聞かれることがよくあるが、家族連れで行ける施設はあるものの、友人たちで行ける施設が少なく、また紹介する私たちも詳しく知らないこともある。若者だけでも行けるところがあるといいし、その情報を私たち市民もPRしていく事が必要かと思う。</p>	<p>引き続き本市の特徴である豊かな農畜水産物の良さをアピールしていきたいと考えています。</p> <p>また、SNSを活用した市の魅力や情報の発信に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信!(P51)</p> <p>5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(P52)</p>	51 52
65	<p>観光誘致等の政策も現在行われているが、イベント・観光シーズンには各地で渋滞が発生し、生活者の移動に支障が出る状態が続いている。</p> <p>企業・人口増加を目指すならば淡路島全体でバランスのとれたインフラ整備を、まず行うことが必要だと思う。</p>	<p>円滑な通行や歩行者及び自転車利用者の安全が確保されるように、市道の整備を進めます。</p> <p>また、これまで整備してきたインフラの大量更新時期を迎えます。人口が減少する中で、すべてのインフラを短期間で更新するとともに、新たなインフラを整備していくことは、財政上不可能と考えられます。そのため、数十年単位で段階的に対応していくことが必要と考え、「公共施設統合管理計画」の策定を進めており、今後の施設のあり方、老朽化対策を検討しているところです。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>4) 安全かつ利便性の高い道路交通網の整備(P33)</p>	33
66	<p>学校卒業後の就職先が無い為、どうしても島外の企業に就職する人が多く、また少子高齢化の影響もあり若年層の人口は、大幅に減少している。</p> <p>その中で人口の減少を止めるには、まず企業誘致を積極的に行うしか方法は無いと思う。その為には、高速道路の料金の更なる引き下げが特に必要であると思う。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、本市の課題として高速道路料金が高いことが挙げられるため、神戸淡路鳴門自動車道通行料金等の格差解消に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4) 若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>2) 観光交流人口の拡大(P50)</p>	42 50
67	<p>今までにない新しい古民家の活用方法により、街に点在する古民家をより多く再生し、歴史的町並みを甦らせることで、それに魅せられた多くの観光客を呼び込む。</p> <p>上記の古民家を、ホテル、レストラン、カフェ等に転用することで、観光資源を巻き上げ、発信→アクセス→滞在環境の整備を図り、一気通貫した観光価値向上に取り組み地域活性化を促進する。</p>	<p>空き家を活用した起業等への支援を行い、起業家を地域で育ていける場所の提供を行います。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>7) 起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進(P43)</p>	43

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
68	<p>高校、大学を卒業予定の人達から、よく聞く意見として南あわじ市が好きで、南あわじ市で働きたいと思っても働く場所がない、又、採用する人数が少ない。</p> <p>企業がたくさんあれば、雇用も生まれるし、若い人達が南あわじ市で活躍できることと思う。</p> <p>新規参入する側も人材確保が大変だと思うが、既存の淡路島の企業で活躍している職員、役所の方々と一緒になって、官民協力し合いながら、企業誘致を進めていただきたいと思う。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、新卒者を島内に呼び戻すため、市の広報誌やケーブルテレビによる情報発信等を行います。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)</p>	42 49
69	<p>淡路島に住んでいる人口に対し、働ける企業が少ないのが現状であり、地元に戻ってくる若者も少なくなってきたと思うので、淡路島の広い土地をいかして工場団地を作ったりして、就職活動の若者が地元に戻ってきても働ける場所をつくる。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、新卒者を島内に呼び戻すため、市の広報誌やケーブルテレビによる情報発信等を行います。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)</p>	42 49
70	企業誘致	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
71	国道や主要道路のインフラ整備	<p>円滑な通行や歩行者及び自転車利用者の安全が確保されるように、市道の整備を進めます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>4)安全かつ利便性の高い道路交通網の整備(P33)</p>	33
72	企業誘致し、働き口の拡大を図り、若者の島外流出を防ぐ。	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
73	企業誘致の推進→雇用の創出	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
74	<p><b>【南あわじ市の観光戦略について】</b></p> <p>現在、淡路島は関西芸(能)人関係の紹介やTV放映により、ひと昔前よりは知名度も上がり、来島者数も増加し、そこそこの経済効果も発生しているかのように思える。</p> <p>昔から淡路島は一日の日照時間が他地域よりも多い分、農作物の生育がよく良質のコンテンツが収穫でき、『御食国』の名にふさわしい土地ではあると思う。その素材を生かした料理は素晴らしく、最近お酒落なカフェ等も増加傾向にあります。単体で見ると、それはわざわざ淡路島にまで</p>	<p>本市は、豊かな自然や食文化、史跡・伝統芸能など数多くの魅力を有しており、今後より一層のブランド力の強化と高付加価値化に取り組むとともに、広報誌やSNSを使って効果的に情報発信を行います。</p> <p>また、ご意見のあった「淡路島検定」については、約10年前に「淡路おのころ島検定」として実施されておりましたが、諸事情により現在では実施されておられません。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p>	49 51 52

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>来て行く店なのか?何か他地域にはない物があるか?と考えると何か不足している。</p> <p>地元目線からみても特段休日に行きたいと思う施設も特になく、観光客が本当に淡路しかないものを求めた場合、ハコモノやコンテンツ以外に何に魅力を感じるのだろう。と日々疑問に感じている。</p> <p>個人的に観光促進において具体的な施策としては、これまでのハコモノ戦略から脱却し、観光に人的な付加価値を加えてみてはと考えている。</p> <p>雑誌やホームページでは知りえない細かい淡路島の魅力を伝える事ができる人的サービスを付け加えたい。</p> <p>『淡路島検定』というものを実施し、観光業界関係者は勿論のこと、淡路島の歴史・産業・文化を一般個人者でもガイドできる人材の育成を起点に、雇用・観光付加価値を提供しては。(検定を催すことで出版関係や他の業界にも経済効果が発生すると思う。)</p> <p>この想いは、今から3年前の『古事記編纂 1300年』時、淡路島を舞台とした話であるにもかかわらず(ビジネスチャンスであるはずなのに)歴史と経済効果の密接さは、大河ドラマ放映で証明されているのは周知のほずにもかかわらず、島民の歴史観の希薄さから恐ろしい程の経済効果損失は計り知れないという苦い経験があるはず。</p> <p>この過ちを二度と繰り返さないよう、島民の意識改革を図り淡路島の発展につながればと切に思う。</p>	<p>基本目標Ⅲ</p> <p>1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)</p> <p>4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信!(P51)</p> <p>5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(P52)</p>	
75	<p>ガタガタ道を直してほしい。</p> <p>ずっと昔からある空家や小屋を整理してほしい(震災時倒壊して危険)。</p>	<p>円滑な通行や歩行者及び自転車利用者の安全が確保されるように、市道の整備を進めます。</p> <p>また、南海トラフ地震等地震災害に備え、市道や通学路などに危険を及ぼす可能性のある老朽危険空き家の所有者に対し、適正に管理するよう指導・助言を行っていきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>4) 安全かつ利便性の高い道路交通網の整備(P33)</p> <p>13) 快適で住みやすいまちづくり(P38)</p>	33 38
76	<p>若い世代による人口増加させることが、市の活性化につながると思うので、新婚世帯の住居費助成なども他の市では注目されているが、雇用の促進、淡路での就職先の増加は必要な課題で、新規事業先の支援など金庫で専門分野の選任などして、バックアップできる体制と確立していくことができれば良いのではと思う。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、民間事業者によるバックアップ体制の確立については、官民連携による取り組みをお願いします。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4) 若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
77	<p>高齢化社会の中、地元へ帰ってきて働く場所が介護職になってきて、就職先が少なくなってきていると思うので、企業の活性化につながる活動をする。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4) 若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
78	<p>共働きが増えてきているので、女性が働きやすい子育て関係の設備を整える。</p>	<p>女性が希望する分野で活躍し、男女がともに思いやりをもって助け合いながら暮らせる地域づくりをめざします。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p>	36 57

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		10)女性が活躍する社会づくり (P36) 基本目標Ⅳ 3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働体制支援体制づくり (P57)	
79	企業誘致による雇用創出	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)	42
80	淡路島の自然を活かしたレジャー施設（キャンプ場、釣り堀等）	本市では、丸山海釣り公園や浮体式多目的公園、伊毘うずしお村などの海釣り公園やキャンプ場を設置しており、今後これら本市の魅力について、広報誌やSNSなどを通じて情報発信していきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅲ 4)見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信!(P51)	51
81	大学に進学しようと思うと、大抵の人は淡路から出て行くことになり、次就職する時に淡路に帰ってきたいと思わせるほどの魅力が淡路にあるかどうか・・・ 淡路で就職するにあたって、地元の企業を全くといっていいほど知らなかった。 新しい企業を引っばってくる手もありますが、今ある企業を知ってもらうのも1つの手かと思った。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。また、新卒者を島内に呼び戻すため、市の広報誌やケーブルテレビによる情報発信等を行います。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 5)市民サービス向上につながる情報提供（就職編）(P42) 基本目標Ⅲ 1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)	42 49
82	雇用創出の為、創業起業の支援を積極的にして欲しい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、空き家を活用した起業等への支援を行い、起業家を地域で育てていける場所の提供を行います。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 7)起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進 (P43)	42 43
83	雇用を増やす 島外に住む友人が、淡路島に帰りたいが仕事がないと言っている。 南あわじ市から明石市や神戸市に通いで通勤することも可能だが、通勤の補助をもう少し増やしてほしいそう。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。また、新卒者を島内に呼び戻すため、市の広報誌やケーブルテレビによる情報発信等を行います。 通勤助成に関するご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 3)未婚者の結婚と定住の促進 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 5)市民サービス向上につながる情報提供（就職編）(P42) 基本目標Ⅲ 1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)	41 42 49



## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
84	<p>公民館の市民講座の充実</p> <p>現在、茶道に行っているが、講座費用もとても安く、また普段は知り合えない年配の方とも話す機会があり、とても良い。</p> <p>今後も着付けやマナー・料理など市民同士が交流できる場を作ってほしい。</p>	<p>茶道講座のほか、市民の方々が市内の自然や歴史を再発見するための公民館講座を実施し、市内で引き続き交流できるよう支援します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>9)子どもや若者が集い、学び、交流する場づくり (P54)</p>	54
85	<p>廃校になった小学校等の旧校舎の活用を更に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南あわじ市には小中学校の統廃合により、学校として使われなくなった校舎が多い。</li> <li>・現在は公民館等として活用しているが、建物はかなり大きく、また数も多いので、現在のところは一部のみの活用となっている。</li> <li>・淡路市の「のじまスコーラ」のようなレストランや、田舎をアピールした宿泊施設・または学生の夏休みの合宿に利用してもらえるようにする。(1つの施設ですべてをするのではなくて、立地や建物の大きさ、構造に合致した活用方法を検討する。)</li> <li>・関西や四国から見ると、南あわじ市は概ね1～2時間で来ることができるので、観光に来たついでに食事や宿泊をすることができる。</li> <li>・旧校舎ということで話題性があり、また懐かしいと感じる人も多いと思う。</li> <li>・雇用創出や、近隣地域経済の活性化にも資することができる。</li> </ul>	<p>小学校の跡地を活用した企業誘致に取り組むとともに、既存公共施設の転用や統廃合等あり方、老朽化対策等の検討を進めます。</p> <p>また、小学校校舎の観光施設としての活用等いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>15)人口減少や住民ニーズなどに対応した公共施設等統合管理(P39)</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	39 42
86	<p>企業の誘致を積極的に行い、雇用の確保をし、若者世代の帰島、定住化を図り、人口増加に結びついて行けば良い。</p> <p>その為に他の地域における企業誘致の成功例等を参考にし、行政だけでなく地域住民が、どのような協力をして行けば良いか周知して欲しい。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、企業誘致を推進するうえで、地域住民の方々のご協力は必要となります。その際には、協力いただく内容や周知方法等を含めて検討させていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
87	<p>現在、南あわじ市はタレントを起用して「あわじ国」としてインターネット等で宣伝しているが、それらと並んで、タレントによるテレビ等のマスメディアでの宣伝の機会を増やし、もっとアピールしてはどうか。</p> <p>地域創生には、まずは他府県等の人にもっと南あわじ市の事を知ってもらう事が必要であると考えます。南あわじ市の魅力を知ってもらう事によって、定住者、移住者、観光客等が増え、企業誘致の効果にも繋がると思う。</p>	<p>情報発信については、本市においても重要と認識しており、引き続き積極的に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信 (P49)</p> <p>2) 観光交流人口の拡大 (P50)</p> <p>3) アンテナショップによる認知度の向上 (P51)</p> <p>4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信! (P51)</p> <p>5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進 (P52)</p>	49 50 51 52
88	<p>農業機械の安価でのリースまたは、農業機械使用の委託先を民間と共同で設置する。</p> <p>農業機械が高額で買い替えができない、高齢により使用できない等の理由で遊休農地や耕作放棄地が増加しているように思われるので、安価でリース出来たり、簡単に機械使用を頼めるところがあれば、少しでも遊休農地や耕作放棄地が減少するのではないかと。</p>	<p>農業経営の効率化や農業の担い手育成として、水稻機械の共同利用支援などに取り組んでいきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>10) 農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産 (P45)</p> <p>12) 農業の担い手確保と育成 (P46)</p>	45 46
89	<p>南あわじ市の人口減少に歯止めを掛けるには、やはり一番は若者の働く場所を確保することであると思うので、積極的な企業誘致が最優先である。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、既存の市内企業の流出抑制も重要であるため、情報収集を行っていきたいと考えています。</p>	42

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	企業誘致により、雇用が拡大すれば自然と人口は増加していくはずである。	<p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	
90	淡路島の自然を活かしたオールシーズン集客の出来るレジャー施設の建設や、大型複合施設の建設をすれば、近隣の他県からも集客が見込め、淡路島の経済の活性化に繋がると思う。	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>一方、市が所有する観光施設については、他の公共施設とあわせて今後大量更新時期を迎えます。人口が減少する中で、公共施設の更新や新たな施設の建設については、数十年単位で段階的に対応していくことが必要と考え、「公共施設統合管理計画」の策定を進めており、今後の施設のあり方、老朽化対策を検討しているところです。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
91	<p>津波対策</p> <p>いつ起こってもおかしくない南海地震の対策を考えるのが重要だと思う。</p> <p>東日本大地震でも予想を上回る大きさの津波が町を襲ったので、個々の準備では対応しきれない自然災害に対し、市が先頭に立った積極的な行動を望む。</p>	<p>南海トラフ地震が懸念されている中、本市ではこれまでの経験をもとに、防災ブック「もしもの備え」を発行するなど、災害に強い安全・安心なまちづくりのため、地域とともに防災対策に取り組んでいます。</p> <p>また、総合戦略においては、市内の建築物に対し簡易耐震診断を実施するとともに、自主防災組織と消防団の連携による活動を支援していきたいと考えています。</p> <p>あわせて、湛水被害の軽減による交通機能の確保についても取り組むこととしています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の対策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>1) 防災意識を高め、円滑な消防防災活動の推進 (P31)</p> <p>2) 農村を災害から守り、環境を各世代で維持管理する活動のための新技術の導入(P32)</p> <p>3) 幹線道路や住宅地の湛水被害の軽減による交通機能の確保 (P33)</p> <p>8) 安心・安全な漁港施設の整備 (P35)</p> <p>13) 快適で住みやすいまちづくり(P38)</p>	31 32 33 35 38
92	郷土を愛することができる人を育てるには、郷土の文化、ふるさとの良いところを伝承することが、人口流出に波止めをかける手立てになると思う。	<p>渦潮の世界遺産登録や歴史・文化継承に向けた交流活動、地場食材の学校給食での提供などにより「ふるさとを思う心」(郷土愛)の醸成に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の対策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>6) 地域資源(渦潮)の保全と関心・愛着を持った人づくり(P53)</p> <p>7) 三世代間交流による地域の伝統・文化の継承(P53)</p> <p>8) 南あわじ市が大好きな子どもたちを増やす(P54)</p> <p>9) 子どもや若者が集い、学び、交流する場づくり(P54)</p> <p>10) 郷土愛を育む、松帆銅鐸などの文化財整備(P55)</p>	53 54 55
93	<p>定住促進(若者が住めるまち)をはかるためには、市の独自産業(農業・漁業の一次産業)、または企業誘致による生活ができるまちを創生する必要があると思う。</p> <p>そのために、市の独自産業の後継者育成の研修や機械の設備投資への補助をしてはどうか?</p>	<p>本市の基幹産業でもある農・漁業については、経営の効率化や担い手育成、農畜水産物の高付加価値化などに取り組みます。また、淡路瓦や手延素麺など地場産業の活性化やブランド化などに取り組むとともに、企業誘致を進めます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p>	42 45 46 47 48

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42) 10) 農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産 (P45) 11) 淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進 (P46) 12) 農業の担い手確保と育成 (P46) 13) 農畜水産物の高付加価値化(P47) 14) 南あわじ産漁獲物の販路拡大及び付加価値向上(P47) 15) 水産資源の確保と環境づくり(P48)	
94	仕事口を増やす 人口減少の原因として仕事の働き口が少ない。 若者だけでなく、まだまだ働ける高年齢の世代の働きも必要でないか。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、高齢者の方々の知識や経験、労働力については、重要であると考えておりますが、総合戦略では各行政分野の施策を網羅的に盛り込むのではなく、「若者」や「子育て世代」をターゲットとして絞り込み、本市の戦略として展開することとしております。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42) 7)起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進(P43)	42 43
95	最近では、独身の男女が増えている、なかなか出会いの場がなく、市が企画しているお見合いパーティーなどに積極的に参加する人は少ない。 昔だったら青年団活動などで若い人同士、一緒に活動して恋愛に発展することが多かったと思う。今では、そういう活動がなく、お見合いパーティーとなったら参加しにくくなるような気がする。 気軽に参加でき、継続的に活動できる場を提供してもらいたい。	本市においては、未婚の男女の縁結びの場となる出会い・交流の場を創出する「ハッピーマジック」を継続的に実施し、誰もが気軽に参加できる場の提供を進めています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 3) 未婚者の結婚と定住の促進 (P41)	41
96	南あわじ市の玉ねぎや魚介類、手延べそうめんなど名産品はたくさんある中で、ブランドアピールが少なく、生産に携わる人が減少しているようなので、南あわじ市から働きかけ、初心者でも生産に参加できるような取組みがあれば、どんどん発展していくのではないか。	本市の食材や特産物を通じて認知度を向上させるためにアンテナショップの設立や海外市場へのPR、生産拡大に向けた支援活動に取り組みます。 また、新規就農者の育成支援など、農業の担い手確保に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 12) 農業の担い手確保と育成 (P46) 基本目標Ⅲ 3) アンテナショップによる認知度の向上 (P51) 5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進 (P52)	46 51 52
97	交通の便が悪く、車を持っていないと生活できない、観光に来てもらう観光地へ簡単に移動できないのが不便。交通網の整備が必要だと感じた。	コミュニティバスの運行など生活利便性の確保について継続的に取り組みます。 また、円滑な通行や歩行者及び自転車利用者の安全が確保されるように、市道の整備を進めます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 4)安全かつ利便性の高い道路交通網の整備(P33) 13)快適で住みやすいまちづくり(P38)	33 38
98	南あわじ市の企業の雇用に関する情報(求人情報)をもっと広められるような取組ができれば、	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。	42

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	島外などへ出る人も少なくなると思う。南あわじ市の様々な企業を知ってもらいたい良い機会になるのではないかと。	また、新卒者を島内に呼び戻すため、市の広報誌やケーブルテレビによる情報発信等を行います。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42) 基本目標Ⅲ 1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)	49
99	子育てのまっただ中の世代目線から見ると、保育料や医療費、出産祝い金等、他の市に比べてとても手厚く、ありがたいことだと思う。 子供たちにとっても、自分たちの住んでいる南あわじ市はいいところだ。と感じてもらいたいのので、郷土芸能等の体験施設や雨天時でも体を動かして遊べるような屋内施設があればいいのではないかと。 南あわじ市のもつ豊かな自然環境や伝統芸能を通して健やかな成長に繋がればいいと思う。	基本目標Ⅳ「子育てしやすいまち」(P56)にも記載しているとおおり、子育て支援に関するさまざまな施策をさらに強化し、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざします。 また、渦潮の世界遺産登録や歴史・文化継承に向けた交流活動、地場食材の学校給食での提供などにより「ふるさとを思う心」(郷土愛)の醸成に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の対策にて対応しています。 基本目標Ⅲ 6)地域資源(渦潮)の保全と関心・愛着を持った人づくり(P53) 7)三世代間交流による地域の伝統・文化の継承(P53) 8)南あわじ市が大好きな子どもたちを増やす(P54) 9)子どもや若者が集い、学び、交流する場づくり(P54) 10)郷土愛を育む、松帆銅鐸などの文化財整備(P55)	53 54 55
100	幸せな生活をおくるために一番重要な事は、何よりも職場であると考えている。 島外で働いている友人との話の中でも、「親の老後を考えると実家で同居したいが、帰ったら生活していくことができなくなる。働く場所があれば・・・」という言葉がでてくる。 企業誘致は大変だと思うが、南あわじ市の魅力を伝え少しでも多くの企業に来て頂き、また地元企業への助成により雇用促進を図ってほしい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)	42
101	地域の特性を活かした吉備国際大学の卒業生に少しでも農業や地域の魅力を理解して頂き、南あわじ市で農業を営んで頂けるような対策をとって頂きたい。そのためにも休耕田や農業機械などの無料貸出や地元青果業の経営ノウハウを学ぶ等、南あわじ市で起業できるような環境づくりができれば、より多くの学生に来て頂けるのではないかと。	吉備国際大学と連携し、産地課題の解決や6次産業化などにつながる大学連携に取り組みます。 また、就農を希望する若者や特に女性を対象とした農業の担い手育成に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 6)吉備国際大学と連携した地域おこしの促進(P43) 12)農業の担い手確保と育成(P46)	43 46
102	少子化対策として、淡路市のような大人の運動会や街コン、婚活パーティーを南あわじ市においても積極的に企画していただき、街全体をもっと活気あふれるものにしてほしい。	本市においては、未婚の男女の縁結びの場となる出会い・交流の場を創出する「ハッピーマジック」を継続的に実施し、誰もが気軽に参加できる場の提供を進めています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 3)未婚者の結婚と定住の促進(P41)	41
103	少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が続いており、労働力の減少、地域活力の低下、社会保障費の増加など様々な面での影響が懸念されていますが、いかに次世代の若者を南あわじ市に呼び戻すことが、最重要課題と思われる。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、いただいたご意見にもあるとおおり、今後も企業立地など必要な分野においては、国や兵庫県、洲本市、淡路市と連携して取り組んでいきたいと考えています。	42

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>現状は雇用が少なく、魅力ある企業は限られていて、最近では淡路市については企業誘致が実現されているが、現状、南あわじ市については島外資本の大型商業店舗の進出が見られるものの、多くの正規雇用者を生む大手企業(製造業等)の進出は数少ない。</p> <p>南あわじ市も企業誘致のため税制優遇、補助金等努力を頂いているが、今後についても国、兵庫県、淡路市、洲本市共連携して、若者が定住し働き口のある、魅力ある南あわじ市に期待したい。</p>	<p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	
104	<p>P.42 Ⅱ-4 Ⅱ-5</p> <p>私自身が就職活動をした経験からであるが、南あわじ市の企業との出会いがとても少ないと感じた。</p> <p>若者の働く場となる企業誘致の促進ということであるが、それと同時に若者に対して働ける企業の情報をしっかり伝えて欲しいと思う。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。また、新卒者を島内に呼び戻すため、ケーブルテレビによる情報発信等を行います。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1)まちの魅力向上に向けた若者世代への情報発信(P49)</p>	42 49
105	<p>Ⅱ-5 では、雇用情報を伝える媒体としてケーブルテレビが挙げられているが、例えば島外の大学に通い、島外で一人暮らしをしている学生ではケーブルテレビを見る機会は少ない。</p> <p>就職活動においてUターン就職を選択する学生に対して、積極的に企業の情報を伝える手段がもっとあれば良いと思う。</p>	<p>ケーブルテレビだけでなく、就職情報の市の広報誌への掲載や、大学との連携など、就職活動においてUターン就職を選択する学生に対する情報発信を行います。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)</p>	49
106	<p>企業誘致</p> <p>都市部からの距離や時間などで不利な点もあるが、島外企業に対して、兵庫県をまき込み南あわじ市として、積極的な誘致活動を行い、雇用の創出に努めてほしい。現状、学卒後、島外企業に就職し、地元で就職する方も減少している。</p> <p>大手企業であるパナソニック(旧三洋電機)洲本工場も人員削減に取り組んでおり、期待できないので、是非ともお願いしたい。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、今後企業立地など必要な分野においては、国や兵庫県、洲本市、淡路市と連携して取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
107	<p>地場産業</p> <p>震災後、瓦関係では、瓦は、震災に弱いなど風評被害も多く、また、産地間での価格競争から、売上は、最盛期の1/3程度まで落ち込み廃業・倒産など暗い話題が多く、元気がない。</p> <p>南あわじ市も、兵庫県産瓦を利用し、居宅新築等の際、補助金交付や新庁舎など建設時に瓦を利用するなど、貢献して頂いているが、さらに、これらの事業者へは、互いに情報交換を行い、官民一体となった実のある取り組みを実施していただきたい。</p>	<p>淡路瓦利活用の奨励促進や淡路手延素麺ブランド強化など、地場産業の普及促進に取り組みます。</p> <p>また、その他いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表する地場産業の普及促進(P46)</p>	46
108	<p>島外からの企業誘致を行い、雇用を生むことで島内住民の流出を減らすと共に、島外からの流入を図る。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
109	<p>吉備国際大学の卒業生が淡路島に残れる環境作り。</p>	<p>吉備国際大学との連携を強化した取り組みを推進するとともに、新規就農者の育成や若者世代を対象とした企業誘致等雇用促進に積極的に取り組みます。</p> <p>また、大学卒業後島内で就職先を見つけられるようにするため、就職情報等を市の広報誌やケーブルテレビによる情報発信に取り組みます。</p>	42 43 46 49

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		<p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42)</p> <p>6)吉備国際大学と連携した地域おこしの促進(P43)</p> <p>12)農業の担い手確保と育成(P46)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)</p>	
110	男女ともに独身者を減らす。(結婚し家庭を持てる活動及び支援)	<p>若者世代を対象として、未婚者の結婚と定住の促進を行います。また、本市においては、未婚の男女の縁結びの場となる出会い・交流の場を創出する「ハッピーマジック」を継続的に実施し、誰もが気軽に参加できる場の提供を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>3)未婚者の結婚と定住の促進(P41)</p>	41
111	人口減少に伴い小学校等の統廃合が、今後も増加していると予想されるので、閉校した校舎等の有効利用(大学、専門学校や企業誘致等)に今まで以上に注力していくことにより、南あわじ市の活性化が図れる。	<p>小学校の跡地を活用した企業誘致に取り組むとともに、既存公共施設の転用や統廃合、老朽化対策等の検討を進めます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>15)人口減少や住民ニーズなどに対応した公共施設等統合管理(P39)</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	39 42
112	<p>現在、市立では市保育所と神代保育所がAM7:00~PM7:00まで保育していますが、他の保育所ではAM8:00~PM6:00までとなっている。</p> <p>仕事の都合上、この時間では難しい部分があるので旧町1つずつでも保育時間を増やすようにしてほしい。現在は祖父母に頼りっきりで申し訳ない。</p>	<p>延長保育の現状や保育ニーズを踏まえ、「こども・子育て支援事業計画」に基づき、施策を推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅳ</p> <p>3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働支援体制づくり(P57)</p> <p>4)安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上(P58)</p>	57 58
113	<p>島外出身者が淡路に移住したいと考えた際に「どのような暮らしになるのか」見当がつきにくいと思うので、モデルケースや交流会等があればいい。</p> <p>中・高校生を対象にアンケートや意見を聞くだけでなく、授業の一環で地域創生戦略について一緒になって考える場が若者も地域に関心が増し、住みたい地域になると思う。</p> <p>若者の就業の募集を積極的に行い農家以外の出身者でも新たに農業経営の開始に向けた説明会等をして頂きたい。</p>	<p>若者世代に市の魅力を発信するため、市広報誌やケーブルテレビによる情報提供に取り組みます。</p> <p>また、就農を希望する若者が不安なく就農へ踏み切ることができるように、新規就農等農業の担い手育成を促進します。</p> <p>その他いただいたご意見については、今後の市政運営の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>総合戦略基本目標Ⅱ</p> <p>12)農業の担い手確保と育成(P46)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)</p>	46 49
114	商店街の空き店舗や空き家を積極的に貸し出したり売り出す支援をし、活気ある街づくりをす	商店街等の空き家を活用した起業等への支援を行い、起業者を地域で育ていける場所の提供を	42

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	る。	行います。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 7) 起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進 (P43)	43
115	南あわじ市は主要産業である農業が盛んで、玉葱、レタスは全国的にみても、トップクラスの産地でブランド化されているが、農業従事者は高齢化されてきており、今後の従事者の減少、遊休農地及び耕作放棄地の増加が続くと思われる。 今後についても積極的に新規就農者等の募集を行い、補助金、農地の斡旋、紹介等施策を策定、実行が重要であると思われる。	農地の集約化や生産基盤の整備等による農業経営の効率化を推進します。 また、若い世代や女性をターゲットにした農業の担い手育成への取り組みについても推進します。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 10) 農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産 (P45) 12) 農業の担い手確保と育成 (P46)	45 46
116	現在、子供が市の保育所に登園しており、延長保育を利用させてもらっている。 2年後には、小学校通うが、現在学童保育は18時までと聞いております。 両親共働きであり、仕事の終了時刻も様々で、また転勤等ある為、お迎えが難しく不安に思っているの、学童も19時まで預かってくれると安心。	学童保育の現状や保育ニーズを踏まえ、「こども・子育て支援事業計画」に基づき、施策を推進します。 そのため、学童保育の時間延長に関するご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅳ 12) 子どもたちが放課後や休日に安心して過ごせ、体験学習等を通じた創造力や協調性を養うまちづくり (P63)	63
117	南あわじ市に産婦人科がなくなり、それに伴い、1つの病院に対する人数が増え、待ち時間も長くなった。 働く女性が増えているので、仕事の合間に病院へ行っている人もいます。産婦人科の充実を願う。	婚姻、出産、子育てという人生設計の中で、女性が希望する分野で活躍し、男女がともに思いやりをもって助け合いながら暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えています。 また、いただいた意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 10) 女性が活躍する社会づくり (P36)	36
118	各商店街のさらなる発展への力添え 南あわじ市に魅力のある施設や店舗を作ることにより、四国等への顧客の流出を防ぐことが地域の発展に繋がると思う。	商店街等で増える空き家を活用した起業等への支援を行い、起業家を地域で育ていける場所の提供に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42) 7) 起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進 (P43)	42 43
119	夜間、休日でも対応してくれる小児科があれば良いと思う。 出産までみてくれる産婦人科があれば妊娠しても安心だなと思う。	小児科の夜間、休日対応等いただいた意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
120	住みよい街づくりを目指す。 イベントなどをもっと増やし、南あわじ市のPRを行う。 他の市から移住者に何か特徴をつける。	移住の受け皿となる空き家の利用促進に対する支援や住宅の取得・賃貸、さらには通勤・通学に係る交通費の助成に取り組みます。 また、若者が参加したいと思えるイベントを開催するとともに、自然や文化、特産品の魅力などを通じて市の良さを発信していきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。	40 41 51 52 54

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		基本目標Ⅱ 2) 田舎暮らしの促進 (P40) 3) 未婚者の結婚と定住の促進 (P41) 基本目標Ⅲ 4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信!(P51) 5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(P52) 基本目標Ⅳ 9) 子どもや若者が集い、学び、交流する場づくり (P54)	
121	子育て世代が働きやすくなるよう、預かり保育の支援等、考えていただきたい。 高校生までの就学支援や、医療費助成等の補助があれば、より出生率も上がる。	本市においては、子育て世代に対し、乳幼児から中学3年生までの医療費助成や保育料無料、入学祝金の支給などさまざまな支援を実施しており、今後も現状やニーズを踏まえ、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、施策を推進します。 一方、高校生の就学支援については、国において「高等学校等就学支援金制度」が実施されており、当該施策については国又は兵庫県にお問い合わせください。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅳ 3) 子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働体制支援体制づくり (P57) 4) 安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上(P58) 6) 保護者の経済的負担を軽減し、子どもの教育振興を図るまちづくり(P59) 12) 子どもたちが放課後や休日に安心して過ごせ、体験学習等を通じ創造力や協調性を養うまちづくり(P63)	57 58 59 63
122	Uターン就職をしたくても、働く場所がなく地元に戻れない人も多いので、企業誘致により就職先を増やしてもらいたい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 5) 市民サービス向上につながる情報提供（就職編）(P42)	42
123	企業誘致などで働ける企業を増やしてほしい。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)	42
124	企業の雇用を広げていただきたい。 年々、高卒で採用してくれるところが減っていると聞くので、働くところがないと島外で就職したり、就職をあきらめて島外の大学へ進学する人が増え、その分の人口が減ると思う。 大学へ進学した人も、島内での就職先がないと淡路には帰ってこずに、そのまま島外で働いている人も多くいると思うので、働くところが増えると淡路に帰ってくる人も増える。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、新卒者が島内における就職情報等を得られるように、市の広報誌やケーブルテレビによる情報発信に取り組みます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 5) 市民サービス向上につながる情報提供（就職編）(P42) 基本目標Ⅲ 1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)	42 49



## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
125	<p>農業離れについて</p> <p>南あわじ市の農業従事者の高齢化及び若者の農業離れにより耕作放棄地が増加している。南あわじ市の特産物といえば、玉葱をはじめとする青果物であり、農業の衰退は深刻な問題。若者が減少する中で、若者を農業に定着させるのは難しい。</p> <p>農業をビジネスとして儲かる職種である認識させる必要がある。その為には少額の補助金では焼け石に水であり、大規模な補助が必要であると思われる。</p> <p>すでに一部行っているが農業の法人化、そして設備の充実化により人手不足を解消するなど対策が必要である。常識にとらわれない、思い切った対策をとらないと、農業の未来はないと思う。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、本市の農業を取り巻く情勢はますます厳しくなっており、この状況を改善するため、農地の集約化や生産基盤の整備等による農業経営の効率化を推進します。</p> <p>また、就農を希望する若者が不安なく就農へ踏み切ることができるように、新規就農等農業の担い手育成を促進します。</p> <p>さらには、6次産業化への支援や農畜水産物の味力発信・販売促進にも取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>10) 農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産(P45)</p> <p>12) 農業の担い手確保と育成(P46)</p> <p>13) 農畜水産物の高付加価値化(P47)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(P52)</p>	45 46 47 52
126	<p>第一に南あわじ市の雇用・就業状況においては、農業従事者が約3,000人と最も高く、今後も主要産業としての位置づけを維持するためには、何より就業者の高齢化に伴う担い手の確保が不可欠であるが、全国的に若者のブルーカラー離れが加速しており、島内及び他府県からの新規就農者の募集等に対し、具体策は講じられているのか不透明である。</p> <p>行政主導による強力なバックアップを行い、全国的ブランドである淡路島玉葱の付加価値向上に努めていただきたい。</p>	<p>本市の基幹産業でもある農・漁業については、経営の効率化や担い手育成、農畜水産物の高付加価値化などに取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>10) 農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産(P45)</p> <p>12) 農業の担い手確保と育成(P46)</p> <p>13) 農畜水産物の高付加価値化(P47)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(P52)</p>	45 46 47 52
127	<p>個人的には、南あわじ市は淡路市、洲本市と違い経済圏として豊かであると思うが、残念ながら今後も若者の島外転出に歯止めはかからず、高齢化もより一層進むものと考えます。</p> <p>そのため戦略面としては、淡路島の豊富な観光資源を活かした観光事業の育成と高齢化を見据え、温暖で雨の少ない自然環境の良さから、老後は淡路島で暮らしたいと思ってもらえるよう医療・福祉事業を強化していくことで、反対に島外からの就労者を呼び込むことにつながり、定住人口の減少に歯止めがかかるのではないかと考える。</p>	<p>観光交流人口を増加させるため、神戸淡路鳴門自動車道通行料金等の格差解消や団体ツアーに対する補助等に取り組みます。</p> <p>また、市内に点在する空き家を活用した移住・定住を促進します。</p> <p>一方、高齢者福祉については、行政経営上重要であると考えており、施策等については継続的に実施しております。しかし、総合戦略では各行政分野の施策を網羅的に盛り込むのではなく、「若者」や「子育て世代」をターゲットとして絞り込み、本市の戦略として展開することとしております。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>2) 田舎暮らしの促進(P40)</p> <p>3) 未婚者の結構と定住の促進(P41)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>2) 観光交流人口の拡大(P50)</p>	40 41 50
128	<p>高齢化や少子化など社会の活力低下をやわらげる為、各世代間の交流の強化</p> <p>例：保育園・老人ホーム・学校等を拠点に集中させて、共通のイベントを開催する等で交流を図る。</p> <p>地域住民参加型のイベントの強化。</p>	<p>地域のことを話し合う場として、市内21地区で「地域づくり協議会」が発足しており、まちづくりを地域で支え合う体制づくりや若者を含めた各世代の意見や考えを地域づくりへと活かす場の創出をめざして取り組みます。</p> <p>また、歴史・文化継承に向けた三世代間の交流活動を実施し、「ふるさとを思う心」(郷土愛)の</p>	37 53

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>旧来の地域参加祭り等にも助成金を出す。 地域シンボルであるだんじりの修復への助成金の強化。</p>	<p>醸成に取り組みます。 その他、いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。 なお、総合戦略では下記の対策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ 11) 地域力を創造するコミュニティの構築 (P37)</p> <p>基本目標Ⅲ 7) 三世代間交流による地域の伝統・文化の継承 (P53)</p>	
129	<p>特に若い世代が住みやすい環境を整える事により、人口の増加も見込まれると思う。 若年層が、島外へ転出する傾向が多いと感じるので、雇用面の拡大は急務であるのと、農業・産業を取り組む新規者をもっと積極的に取り込む宣伝に力を入れる必要があると感じる。そうする事で、淡路の活性にも少しずつ、つながっていく様に思う。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 また、淡路瓦利活用などによる地場産業の普及促進や農・漁業における経営の効率化、担い手育成、農畜水産物の高付加価値化などに取り組みます。 さらには、自然や文化、特産品の魅力などを通じて市の良さを発信していきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42) 12) 農業の担い手確保と育成 (P46)</p> <p>基本目標Ⅲ 1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信 (P49) 4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信! (P51) 5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進 (P52)</p>	42 46 49 51 52
130	<p>明石海峡大橋の通行料を払ってまで、魅力を感じる施設などが少なく、もっと遊休農地の有効利用などを、第一に考えていただきたい。 リピート客や定住の促進など「南あわじ市ならではの」をもっと発信して行って欲しい。</p>	<p>移住の受け皿として、空き家バンク制度を構築するとともに、マイホーム取得への支援に取り組み、移住・定住を推進します。 あわせて、自然や文化、特産品の魅力などを通じて市の良さを発信していきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ 2) 田舎暮らしの促進 (P40) 3) 未婚者の結婚と定住の促進 (P41)</p> <p>基本目標Ⅲ 1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信 (P49) 4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信! (P51) 5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進 (P52)</p>	40 41 49 51 52
131	<p>若者の流出を防ぐには「子育てしやすいまち」等施策も大変重要なことではあるが、南あわじ市は雇用先（若者の働き口）が少ないように思う。 島外へと流出する人は「働く会社がない」という意見が最も多い。 南あわじ市の生活環境がとても良いという PR を行い、環境が良いと感じた企業には、市が・町が・全面バックアップをし、企業誘致を図る。 当企業への雇用者は 50%程の南あわじ市出身者を雇用し、南あわじ市の住民へと還元する。 そうすることにより、南あわじ市を離れたくないと思っていたが働き口がなく、やむを得ず南あわじ市を離れ、仕事場を探していた若者も、南あわじ市に残り、自ら生まれ育った環境で生活を送</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。また、新卒者を島内に呼び戻すため、ケーブルテレビによる情報発信等を行います。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42) 5) 市民サービス向上につながる情報提供（就職編） (P42)</p>	42

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>ることができる。</p> <p>雇用先が増えれば流出に歯止めがかかり、自然と南あわじ市人口は維持される。</p>		
132	<p>若者に出会いの場を設けること。独身者の声では「とにかく出会いがない」という声をよく聞く。「街コン」という言葉が流行するほど、市民は関心が高い項目だと思う。</p> <p>人とコミュニケーションをとることが苦手な人でも、気軽に参加できる出会いの場を作られてはいいかなと思う。</p>	<p>若者世代を対象として、未婚者の結婚と定住の促進を行います。また、本市においては、未婚の男女の縁結びの場となる出会い・交流の場を創出する「ハッピーマジック」を継続的に実施し、誰もが気軽に参加できる場の提供を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>3)未婚者の結婚と定住の促進 (P41)</p>	41
133	<p>農業従事者の高齢化、事業未継承により遊休農地や空き家が増加していくことから、それらを有効活用できるように島外に向け、益々情報発信等を行い、商業施設誘致や人を呼びこんでUターン就職や、大学等で島外へ出た人が戻ってきやすい環境を築いていく。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、移住の受け皿となる空き家の利用促進に対する支援や住宅の取得・賃貸、さらには通勤・通学に係る交通費の助成に取り組みます。</p> <p>あわせて、若者世代に市の魅力を発信するため、市広報誌やケーブルテレビによる情報発信や農業の後継者の確保等にも取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>総合戦略基本目標Ⅱ</p> <p>2) 田舎暮らしの促進 (P40)</p> <p>3) 未婚者の結婚と定住の促進 (P41)</p> <p>4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42)</p> <p>12) 農業の担い手確保と育成 (P46)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>1) まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信 (P49)</p>	40 41 42 46 49
134	<p>地場産業を生かした事業展開</p> <p>1次産業(特に農業)就労者の増加に向けた島外向けPR(ブランドアピール)、税金面での優遇、吉備国際大学卒業生がそのまま淡路島に就職・就労できる環境を整備して欲しい。</p>	<p>地場産業のブランド力の強化や農畜水産物の6次産業化による特産品の魅力向上を図るとともに、アンテナショップの設置による認知度の向上やSNSを通じた市の魅力発信に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>11) 淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進 (P46)</p> <p>13) 農畜水産物の高付加価値化 (P47)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>3) アンテナショップによる認知度の向上 (P51)</p> <p>4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信！ (P51)</p> <p>5) 豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進 (P52)</p>	46 47 51 52
135	<p>観光施設の整備による観光客の誘致</p> <p>東京五輪を見据え、外国人観光客の誘致に向けた整備(フリーWi-Fiスポットの設置、看板・案内地図のローマ字表記版)、観光客受入施設の誘致(例:淡路市の「タコせんべいの里」を南あわじ市にも)等に取り組んで欲しい。</p>	<p>観光交流人口を増加させるために、様々なアクセス性や情報インフラ等多面的な視点から取り組みを推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>2) 観光交流人口の拡大 (P50)</p>	50
136	<p>学生の地元での就職支援</p> <p>大学生・専門学生のUターン支援(就職説明会開催、雇用企業への補助金等)並びに企業誘致(コ</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。また、新卒者を島内に呼び戻すため、ケーブルテレビによる情報発信等を行います。</p>	42

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>コンビニ・量販店でなくメーカー) 等に取り組んで欲しい。</p> <p>「住みたい街No.1」に選ばれるような、誰もが住みたくなるような街づくりを目指す必要があると思う。「安心・安全・便利・魅力」ある街に向け住民参加型の取組みを継続して考えてほしい。</p>	<p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>5)市民サービス向上につながる情報提供(就職編)(P42)</p>	
137	<p>地域の人口を増やす</p> <p>出生率の増加を図る。そのためにはそれぞれの地域において子育ての相談、支援できる窓口、または子育て世帯の働きやすい環境づくりをしてほしい。そうすることにより他市からの転入及び出生率の増加によって人口増加、高齢化の改善につながると思う。</p>	<p>各家庭が持つ多様なニーズに応じ、妊娠・出産時からの切れ目のない支援、多子型の出産・子育てのための経済的負担の軽減、子育てにおける悩みや不安解消のための支援体制の構築を行います。</p> <p>また、女性が希望する分野で活躍し、男女がともに思いやりをもって助け合いながら暮らせる魅力ある地域づくりを進めます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ</p> <p>10)女性が活躍する社会づくり(P36)</p> <p>基本目標Ⅳ</p> <p>3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働体制支援体制づくり(P57)</p>	36 57
138	<p>地域の安定した雇用を創出する</p> <p>地元において就職先が少なく大学卒業後、Uターン就職したくても出来ない状況であり、企業誘致により雇用の創出に取り組んでほしい。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p>	42
139	<p>P25、農業事業後継者問題について</p> <p>島内でも農家でない人で農業に興味がある人が周りにいる。島内・島外から農業に興味がある人や農業法人で就職したい人を募集し、参加費は無料で農業を体験する機会等を設けたらいいと思う。</p> <p>また、農業だけでは低収入なのでカフェ等と兼業を考える人もいると思うので、起業する人のために無料でセミナーを行ったらいいと思う。</p>	<p>農地の集約化や生産基盤の整備等による農業経営の効率化を推進します。また、若い世代や女性をターゲットにした農業の担い手育成への取り組みについても推進します。</p> <p>また、空き家等を活用した起業等への支援を行い、地域の活性化に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>7)起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進(P43)</p> <p>10)農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産(P45)</p> <p>12)農業の担い手確保と育成(P46)</p>	43 45 46
140	<p>都会へのPRや口コミによる特産物の促進をし、地域の価値や魅力を伸ばし発信することによって地域社会の活性化などの利点が見込めると考える。</p>	<p>地場産業のブランド力の強化や農畜水産物の6次産業化による特産品の魅力向上を図るとともに、アンテナショップの設置による認知度の向上やSNSを通じた市の魅力発信に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進(P46)</p> <p>13)農畜水産物の高付加価値化(P47)</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>3)アンテナショップによる認知度の向上(P51)</p> <p>4)見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信!(P51)</p> <p>5)豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(P52)</p>	46 47 51 52
141	<p>淡路島で生活をする上で欠かせないものが自家用車である。都市部と違い電車、バスなどの交通の便が整備されておらず、1人1台必要となる。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の市政運営の参考とさせていただきます。</p>	-

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>人口を増やす為に必要な事は雇用の拡大である事は言うまでもないが、転入するにあたり自家用車に対する補助金や個人向けのリース等を考えてはどうか。</p> <p>若い世代では収入も低く、どうしても負担が大きくなると思う。</p>		
142	<p>交通の利便性を高める必要があると思う。</p> <p>高齢になる両親のうち、まだ片方が車を運転出来ていますが、運転が出来なくなると、行動範囲が限られ、生活が不自由になる。</p> <p>らんらんバスもあるが、車で15分で帰れる場所から、この前らんらんバスを利用した際、「2時間かけて帰ってきた」との話を聞き、主要な沿線から離れた場所だと大変だと思った。</p> <p>車に乗れない高齢者等が生活しやすいよう安価な高齢者等専用のタクシーを充実して欲しい。</p>	<p>らんらんバスの運行については、地域公共交通会議による提言を踏まえ、直近では平成27年度に運行内容を大きく見直しており、今後も継続してより利便性の高い網の整備を推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅰ 13) 快適で住みやすいまちづくり (P38)</p>	38
143	<p>若い世代の人口増加も必要だと思うが、働く場所として、高齢世帯の農家に若い人が働ける環境が出来れば、広大な農地を有効に活用出来ると思う。</p> <p>後継者が島外に出で人に貸したりしている人が多く、手放したくても手放せない状況もあるので、市がもっと告知して農家の人と働き手のパイプ役として、農地バンクを身近な環境にする必要があると思う。</p>	<p>就農を希望する若者が不安なく就農へ踏み切ることができるよう農業の担い手育成を進めます。</p> <p>また、農地の貸し手への支援を継続します。</p> <p>あわせて農地の集約化や生産基盤の整備等による農業経営の効率化を推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ 10) 農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産 (P45) 12) 農業の担い手確保と育成 (P46)</p>	45 46
144	<p>三世代交流の定期的実施してほしい。</p> <p>小学生のころおじいちゃんおばあちゃんと草履を手作りしたり、お手玉やおはじきで遊んだのが、とても楽しくて印象に残っている。</p> <p>昔の遊びや知識を引き継いでいくことは大事だと思う。</p>	<p>郷土愛の醸成のため、地域の伝統芸能・食文化等をテーマとし、公民館等を活用した老人クラブによる交流活動を推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ 7) 三世代間交流による地域の伝統・文化の継承 (P53)</p>	53
145	<p>最近、休日など島外からきて自転車でサイクリングしている人を良く見る。</p> <p>そんな人を更に増やすために、充実した休憩スポットや観光スポットを今よりも増やすべきだと思う。サイクリングロードみたいな地図を作るのもいいと思う。</p>	<p>観光交流人口を増加させるために、様々なアクセス性や情報インフラ等多面的な視点から取り組みを推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ 2) 観光交流人口の拡大 (P50)</p>	50
146	<p>人口増加、主に若年層の確保に繋げて欲しい。</p> <p>現在、島内で働き場所が少ないのが現状で大学進学後の就職先が淡路島内でなく島外の都心部に集中しており、島外に若年層が流出して高齢化に伴う税収減少、地域サービス低下に拍車がかかり人口減少に歯止めが効かない状態。</p> <p>第一の要望として企業誘致に尽力していただきたい。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ 4) 若者の働く場となる企業誘致の促進 (P42)</p>	42
147	<p>島内の地元企業に対する税制優遇等。</p> <p>現在、島外資本の企業が島内に出店ラッシュ(主にコンビニエンスストア・小売業・島外の大型資本の会社等)で島内企業・地元産業の冷え込みにより、衰退・廃業が相次いでいる。</p> <p>上記要望と相反すると思うが、地元の活性化という意味では島内に所在する企業に対して税制優遇・官公庁と連携し地元企業のPRおよびバックアップ体制の整備が不可欠だと思う。地元の企業が潤えば、地元の雇用増加が見込め、雇用が増える事により市の税収増加、税収の増加により地</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。</p> <p>また、淡路瓦や手延素麺のブランド化や市内の基幹産業や特産品の魅力に関する情報発信についても取り組みます。</p> <p>既存企業への税制優遇措置等いただいたご意見については、税負担の公正性・公平性等を勘案しながら今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p>	42 46 49

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	域サービスが増え人口流入といった流に繋がるのではないかと思う。	基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進(P46) 基本目標Ⅲ 1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)	
148	地域の安定した雇用を創出する 働く場所が少ないと思うので、企業誘致などで安定した仕事を確保出来れば、人も定住し、人口も増えていくと思う。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)	42
149	P.42 Ⅱ-4 「若者の働く場となる企業誘致の促進」 企業・工場の誘致を図れば雇用が増えて固定資産税等の増収も期待できるが、誘致した企業の取引相手が地元から資材を調達しない企業や、地元企業との取引が生まれにくい企業では、域内への経済効果は飲食業等一部に限定的となる。 雇用面だけを見て企業の誘致を狙うより、お金が地域で循環することで地域全体の所得向上に繋がる企業・業種にターゲットを絞って誘致をしてみてもどうか。 さらに、地域の雇用を支えている業種や産業構造を把握したうえで、仕事づくり・稼ぐ力の向上に繋がる戦略立案が重要であるとする。 当市は農業の就業者数が最も高く、男性では製造業、卸売・小売業、建設業が、女性では卸売・小売業、医療・福祉、製造業が、雇用を支えている。 また、産業別付加価値額の割合から見ると、製造業、医療・福祉、卸売・小売業で50%超を占めている。これら産業の生産性向上を図り、付加価値額の増加を目指すとともに、農業や漁業のほか、製造業や宿泊・飲食サービス業など域外から稼ぐ産業への支援が重要であるとする。	最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。誘致に際しては、ご意見のとおり、雇用面のみならず、地域内での経済循環を創出するような企業の誘致をより重視していきたいと考えます。 また、企業誘致のみならず、地元企業の生産性向上による雇用の増加は重要な観点であると認識しています。そのため、農業のほか、本市の雇用を支える業種への支援や、その魅力に関する情報発信などに取り組んでいきたいと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42) 11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進(P46) 基本目標Ⅲ 1)まちの魅力向上にむけた若者世代への情報発信(P49)	42 46 49
150	●43 頁 「起業家を育成する…(以下省略)」 インキュベーション施設 「雇用の創出」における「インキュベーション施設を活用した創業者数10人」の目標設定は記載どおりで良いとして、創業比率は1%程度まで落ち込むなか廃業率は約5%と開廃業率が逆転して久しい。この差を埋めるべく、開業率の向上施策を講じるとともに、廃業率の低下、円満な退出、事業承継支援等の施策を講じていかなければ地域の活性化はあり得ない。	農業、漁業、地場産業をはじめとする既存産業の活性化に向けた施策に取り組み、廃業率の低下防止等に努めます。 また、南あわじ市の様々な魅力を発信することでも既存産業の活性化につながり、ひいては廃業率の低下防止や事業継承支援等が図られるものと考えています。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅱ 1)地域特産品と地域外人材活用によるにぎわいの創出(P40) 7)起業家を育成する場所の整備と商店街の活性化促進(P43) 10)農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産(P45) 11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進(P46) 12)農業の担い手確保と育成(P46) 13)農畜水産物の高付加価値化(P47) 14)南あわじ産漁獲物の販路拡大及び付加価値向上(P47) 基本目標Ⅲ 2)観光交流人口の拡大(P50) 3)アンテナショップによる認知度の向上(P51)	40 43 45 46 47 50 51 52

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		4)見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信！(P51) 5)豊かな農畜水産物の味力発信と販売促進(P52)	
151	<p>●50 頁 観光交流人口の拡大</p> <p>「無料 Wi-Fi スポットの整備」については、賛同する。</p> <p>それ以外に、「まちや観光地そのものの魅力向上」を図ったうえで、市内及び観光スポットの案内標記や飲食店メニューの外国語標記（英中韓）、飲食店メニューのハラル対応やお勧めメニューの提供、来訪者が「また来たい」と思うような街づくりを進める必要がある。</p>	<p>いただいたご意見については、市内の主要公共施設や観光案内板、市ホームページ等において、少しずつではありますが、対応させていただいています。</p> <p>しかしながら、民間施設については、強制できるものではありませんので、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>2)観光交流人口の拡大(P50)</p>	50
152	<p>●59 頁 保護者の経済負担を軽減し子どもの教育振興を…</p> <p>合計特殊出生率が将来展望（27 頁）の 2.15 まで上昇すれば、多くの家庭で 3 人以上の子どもを育てることとなる。</p> <p>昨今では、大学進学が当たり前で、その費用は、幼稚園や小学校へ通わせる費用と比較して莫大な額であり、2 人目、3 人目となるに従い、家計が資金ショートするケースも多いと思われる。</p> <p>※ 4 年間で、文系私大の学費 5 百万円＋仕送り 4 百万円（@10 万円×年 10 月）＝9 百万円</p> <p>貸与型奨学金の充実を図るとともに、第 3 子以降の子弟や卒業後に Uターンを条件とした給付型奨学金（または、貸与型の一部返済免除）の導入を検討してはどうか。</p>	<p>合計特殊出生率向上に向け、各家庭の経済的負担を軽減することが重要であると考え、総合戦略において軽減に向けた施策を展開することとしております</p> <p>また、平成 27 年度に策定した「こども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に関する施策を推進しています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅳ</p> <p>3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働体制支援体制づくり（P57）</p> <p>4)安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上(P58)</p> <p>6)保護者の経済的負担を軽減し、子どもの教育振興を図るまちづくり(P59)</p>	57 58 59
153	<p>P58IV-4 安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上</p> <p>公的な学童保育施設の預かり時間の延長や病時保育等、近頃の働き方に柔軟に対応できる預かり方をお願いします。</p> <p>近頃、経済的理由により保育施設に子供を預けながら共働きをしている世帯が多く、子供が保育園から小学校に上がる際に、多くの共働き世帯が学童施設等を利用している。</p> <p>「小 1 の壁」と言われる通り、上記施設は 18 時迄の所が多いため、時短勤務等の制度が整備されていない企業で働く者にとって、働きながら子育てをするのは難しく、雇用形態の変更や退職を余儀なくされている。</p> <p>「2 人目、3 人目の出産」を前向きにとらえるには、病時保育や保育時間の延長等、近頃の働き方に柔軟に対応でき、長期的に安心して働き続けられる体制の整備が必要。上記施設の整備や維持には、人口規模から見て困難なことは十分承知しているが、今こそ 3 市が一つになって取り組む時期ではないか。</p>	<p>学童保育の現状や保育ニーズを踏まえ、「こども・子育て支援事業計画」に基づき、施策を推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅳ</p> <p>3)子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働支援体制づくり(P57)</p> <p>4)安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上(P58)</p>	57 58
154	<p>P44 II-8 淡路島特有の再生可能エネルギーと新産業の創出</p> <p>補助金無しでも採算が取れるかの検討が必要と考える。いくらエコでも費用削減効果が乏しければ広まらない。</p> <p>KPI についてはエネルギー消費の何%を占めるとしてはどうか。1%でもかなりのハードルだが、エネルギー消費の 1%も占められないものなら果たして意味があるでしょうか。</p> <p>また、竹林の伐採についても（持ち主と伐採者の間の）ルール作りが必要であるとする。</p>	<p>近年、放置竹林の増加が問題となっており、市内に豊富に存在する竹資源をバイオマスエネルギーとして活用することにより、淡路島特有の再生可能エネルギーを創出するとともに、放置竹林の拡大防止及び竹林の継続的な利活用をめざします。</p> <p>また、竹チップボイラーの開発・供給、竹燃料の供給は民間事業者を主体として、これを支援するため、竹チップボイラーの設置やモニタリングに係る委託事業を創設し、事業採算性が成り立つ条件を探っていきます。</p> <p>なお、KPI 指標、竹林の伐採ルールについては、いただいた意見を踏まえ、今後の市政運営の参</p>	44

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		考とさせていただきます。	
155	<p>P42 II-4 若者の働く場となる企業誘致の促進</p> <p>P11 の産業の状況から見て、農業と製造業に高い集積が見られる。ここで従業者数が増えることが人口の増加に直結する。</p> <p>企業誘致はこれらの産業と関連し、相乗効果のある企業を優先的に誘致すべきである。例えば、食品製造業や農機具製造業、農業の研究施設等である。</p> <p>農業、製造業ともに域外から稼ぐことのできる業種であり、他産業への波及も期待できる。</p>	<p>最重要施策の一つとして、企業誘致を進めています。誘致に際しては、ご意見のとおり、地域産業とのつながりにも留意し、地元事業者の生産性向上にもつながることが重要と認識しています。</p> <p>また、農・漁業等の生産力向上を推進するとともに、農畜水産物を活用した6次産業化や高付加価値化を支援し、第1次産業従事者の所得向上に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>4)若者の働く場となる企業誘致の促進(P42)</p> <p>6)吉備国際大学と連携した地域おこしの促進(P43)</p> <p>10)農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産(P45)</p> <p>12)農業の担い手の確保と育成(P46)</p> <p>13) 農畜水産物の高付加価値化(P47)</p> <p>14)南あわじ産漁獲物の販路拡大及び付加価値向上(P47)</p>	42 43 45 46 47
156	<p>P46 II-11 淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進</p> <p>瓦製造業は携わっている人の数や運送業、燃料小売業、粘土採掘業等裾野の広さから見ても非常に重要な産業ではあるが、間違いなく斜陽産業である。</p> <p>よって、普及促進を図るだけでなく、現有の技術と設備を他に転用できないかを探る取り組みも必要であると考えられる。</p> <p>また、手延素麺は南あわじ市にある多様な食文化の一つである。</p> <p>三年トラフグやたまねぎ、淡路ビーフ等を一くりにして普及促進していけないだろうか。</p> <p>淡路島の魅力はなんと言っても美味しい食べ物にあり、うまく発信できれば十分に島外から人を呼び込めるものであると考えられる。</p>	<p>瓦産業は、阪神淡路大震による影響を大きく受け、出荷量の減少や後継者不足となっています。しかしながら、本市における伝統的な地場産業であり、斜陽産業とは考えずに、今後も淡路瓦の活用促進に取り組みます。</p> <p>また、手延素麺をはじめ、本地域の特色である食材の持つ力を「味力」と位置づけ、「魅力」と「味力」の両面から新たな価値を創出し、観光・交流人口の増加による活気あふれるまちをめざします。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>11)淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の普及促進(P46)</p>	46
157	<p>P45 II-10 農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産</p> <p>農業は、従事者数、ブランド品の存在、近隣に大消費地を抱えている等、伸びしろも十分にある最重要産業であると考えられる。</p> <p>問題は、恵まれた環境にあるということである。他市にくらべて整備された比較的広い農地を持ち、上述通りブランド力と消費地がある。ご苦労はもちろんあるかと思われるが、作れば売れる環境である。</p> <p>また、平日は会社員をしておられる方も多数おられるかと思う。必死になれば生産性の向上や販路開拓、商品開発等まだまだやれることが残っているはずである。</p> <p>よって、専業農家の増加や企業の農業参入促進を行ってはどうか。</p> <p>また、現状では農産物の値段は市場によるため、年によって大きく変動する可能性がある。安定して経営していくための仕組み（多少安くても固定価格で売れる）作りが必要ではないだろうか。</p>	<p>農地の集約化や生産基盤の整備等による農業経営の効率化に取り組みます。</p> <p>また、就農希望者が不安なく農業に従事できるように支援するとともに、女性の農業経営への参画や後継者育成を支援します。</p> <p>あわせて、農・漁業等の生産力向上を推進するとともに、農畜水産物を活用した6次産業化や高付加価値化を支援し、第1次産業従事者の所得向上に取り組みます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>10)農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産(P45)</p> <p>12)農業の担い手の確保と育成(P46)</p> <p>13) 農畜水産物の高付加価値化(P47)</p> <p>14)南あわじ産漁獲物の販路拡大及び付加価値向上(P47)</p>	45 46 47
158	<p>P. 46 II-12 「農業の担い手確保と育成」</p> <p>若い世代が安心して農業だけで家計を支えていくだけの安定した収入の確保が出来ないということが現実問題としてあり、子供が農業を継ぎたくても継げないため、農家の高齢化がさらに進んでいるというのが現状である。</p> <p>農業含め地場産業活性化のため、地元住民はもちろんのこと、島外からも若者を呼び込み、農業</p>	<p>就農を希望する若者が不安なく就農へ踏み切ることができるよう、農業の担い手育成への取り組みを推進します。</p> <p>また、移住の受け皿として、空き家バンク制度を構築するとともに、マイホーム取得への支援に取り組み、田舎暮らしに興味をもっている都会の方をターゲットとした住宅施策を推進します。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p>	40 41 46



## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>の活性化に努めて欲しい。</p> <p>そのために、婚活ツアーのような農業体験ツアーや育成セミナー等の開催をはじめ、将来、南あわじ市内に定住して農業をしてもらえるような環境整備（住宅・育成設備等）を行って欲しい。</p>	<p>基本目標Ⅱ</p> <p>2) 田舎暮らしの促進 (P40)</p> <p>3) 未婚者の結婚と定住の促進 (P41)</p> <p>12) 農業の担い手の確保と育成 (P46)</p>	
159	<p>P. 58 IV-4「安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上」</p> <p>施設の統廃合により、預ける場所がなくなったり、遠くなったりすることで、共働きの夫婦が子育てのために仕事を続けられないことも考えられる。</p> <p>保育サービスの量・質の向上に取り組むことはもちろんのこと、それぞれの会社自体に託児所の設置、派遣保育（病児保育等）のようなサービスをして欲しいと思う。</p>	<p>保育環境の充実に向けて、保育所等の施設内でのサービスのみならず、市内各企業における取り組みは重要であると認識しており、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅳ</p> <p>3) 子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働支援体制づくり (P57)</p> <p>4) 安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上 (P58)</p>	57 58
<b>【⑥KPIに関する事項】</b>			
160	<p>●42 頁 若者の働く場となる企業誘致の推進</p> <p>「若者の働く場の創出」を目的とするならば、KPIは「企業等立地の者数」ではなく、「企業誘致にかかる雇用創出数」とすべきでないか。</p> <p>※ 誘致する企業は、雇用を生むとともに、地域外からのマネー地域に還元する「外貨獲得型」であることが望まれる。</p>	<p>企業誘致については、「誘致」はもとより、地元雇用を重視される企業に対する働きかけを重視しております。</p> <p>指標については、雇用効果を測定するものを設定する重要性は理解しておりますが、まずは前述の考え方にて企業を誘致することそのものを目標に取り組みでいきたいと考えています。</p>	42
161	<p>●53 頁 観光資源（渦潮）の保全と関心・愛着を持った人づくり</p> <p>KPIの「国内暫定リスト入り」が目標なのか。登録でなく「入り込み客の増加」を目標とすべきではないのか。</p> <p>「暫定リスト入り」もしくは「選に漏れて」終わりではなく、将来にわたり人を呼び込み、あわよくば、定住促進につなげる取り組みを継続することが大切である。</p>	<p>鳴門海峡の「渦潮」の世界遺産への登録推進は、観光資源の保全と意識醸成のための手段の1つとしKPIを設定しております。</p> <p>しかしながら、この取り組み（KPIの達成や世界遺産登録）を進めることで「観光交流人口の増加」や「定住促進」への波及効果も考えられるものと認識しております。</p>	53
<b>【⑦提案事項】</b>			
162	<p>将来の南あわじ市にとって必ず有効に働くものとして、給付型奨学金制度を提案する。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	—
163	<p>らんらんバスの高齢者料金が必要。特別養護老人ホームの待機者の解消、介護状態になった時など安心して住める市にする事が必要と感じる。</p>	<p>らんらんバスについては、地域公共交通会議による提言を踏まえ、平成25年度より高齢者料金を設定しております。</p> <p>また、若者世代に市の魅力を発信するため、市広報誌やケーブルテレビによる情報発信を行必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るようにするため、介護、医療、生活支援、住まいなどを一体的に提供できるような仕組みを作っていきます。</p> <p>その他いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	—
164	<p>子育て世帯の経済的負担は大きく、保育料の無料化は家計を助けるものである。</p> <p>小中学校でも費用に対する支援策を考えてほしい。又、学童保育施設や将来の予測でも利用人数が増える計画である。1日も早く施設の拡充が必要だと感じている。</p>	<p>子どもの教育に関する負担軽減としては、小学校への入学祝金の支給、大学等の教育資金に係る借入金に対する利子補給等を実施しております。</p> <p>また、学童保育施設については、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、未開設校区への設置に向けて検討を進めます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅳ</p> <p>6) 保護者の経済的負担を軽減し、子どもの教育振興を図るまちづくり (P59)</p> <p>12) 子どもたちが放課後や休日に安心して過ごせ、体験学習等を通じて創造力や協調性を養うまちづくり (P63)</p>	59 63

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
165	<p>若者の町を目指すため、有名東京6大学の関西分校の誘致を考えてみてはどうか。</p> <p>西日本の若者で、東京へ行きたいが、東京へはいけず、関西圏であれば、可能という人も大多数いると思う。</p> <p>淡路は、魚の宝庫でだが、近年生態系の変化により、漁獲量の減少、獲れる時期の変化が起こってきている。近畿大学水産学部、弘前大学水産学部等と連携し、できれば大学を誘致し、魚を守り、今後の観光促進に繋げていただきたい。</p>	<p>本市は、吉備国際大学の誘致・開校を契機として、大学連携推進協議会を設立しており、農水産物の6次産業化につながる研究会を実施しています。</p> <p>更なる大学の誘致や連携については、いただいた意見を踏まえ、今後検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅱ</p> <p>6)吉備国際大学と連携した地域おこしの促進(P43)</p>	43
166	<p>子育てしやすい環境づくり</p> <p>お金をかけずに遊べる場所の整備が必要。休日でも親子で楽しめる大きな公園が少ない。(特に西淡地区)</p> <p>乳幼児健診は平日が基本ですが、休日(土日)に受けられる病院を増やしてはどうか。そうすれば保育園、仕事を休まず行くことができる。</p>	<p>市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。</p> <p>また、休日の乳幼児健診に関するご意見と合わせて、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	60
167	<p>子供が安心して遊べる公園を住宅街に作ってほしい。</p> <p>通学路以外の、幹線道路では無い道にも、もっと街灯を作ってもらいたい。夜に真っ暗な道が多い為。</p>	<p>市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。</p> <p>幹線道路以外の街灯に関するご意見と合わせて、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-
168	<p>「医(療)」・・・365日十分な医療を受けられる体制作り。</p> <p>休日診療所の設備を充実させ、休日でも十分な診察が受けられるようにしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-
169	<p>安心で明るい街づくり</p> <p>街灯が少なく、夜が真っ暗で危ない。子供から年配の方まで皆が安心して暮らせる街づくりが必要。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-
170	<p>淡路市には、淡路島公園、おのころパークなど子供たちが楽しく遊べる場所が多いので、南あわじ市にも安全に遊べる公園等を増やしてほしい。</p>	<p>市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。</p> <p>また、いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-
171	<p>P.26 子育て世代が安心して子どもを生み育てられるまちづくりを行う。(合計特殊出生率2.10)</p> <p>◎南あわじ市のように子育て支援をして成功した町がある。合計特殊出生率を10年間で1.41から2.81まで上昇した岡山県奈義町をご紹介します。人口6,000人</p> <p>○町が取組んだ具体的な施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育料・幼稚園授業料 子ども2人目半額、3人目無料。</li> <li>・子どもの医療費 高校まで町が負担(無料)。</li> <li>・予防接種 全額無料と一部助成。</li> <li>・住いサポート 一戸建てを整備入居資格40歳未満の夫婦3LDK 家賃月5万円。</li> <li>・子育て支援センター(相談員による精神的サポート)の利用料無料、年齢制限無し、子どもの遊び場、ママのおしゃべりの場。</li> <li>・不妊・不育治療費助成など。</li> </ul> <p>○町での経費削減への取組みについて(奈義町は平成の大合併はしていない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役場の職員同規模より20人少ない。</li> <li>・職員の平均給与も2013年は、奈義町が月約29.3万円、同規模自治体が月35.6万円6万円</li> </ul>	<p>ご紹介いただいた岡山県奈義町や宮城県都市の事例を踏まえ、行政経費削減への取り組みやふるさと納税の子ども支援への活用等今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
	<p>少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共工事も町民がボランティアで工事をして経費を削減している。</li> </ul> <p>○町での10年間の取組みと結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉・教育・医療、直接町民に関わる部分は節減の影響を極力出さないようして、我慢できるところは我慢してもらっている。</li> <li>・子育て支援してから数年で子どもがたくさん産んでも安心できる雰囲気生まれてきた。</li> <li>・1世帯あたりの子どもの数が、3人以上が50%、2人が35.8%、1人は14.2%になった。</li> <li>・町をあげて子育てを応援するムードができています。</li> <li>・幅広いメニューを地道にやることで10年で出生率が1.41%から2.81%になった。</li> </ul> <p>◎ふるさと納税を子ども支援に活用してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税は全国1位で、宮崎県都城市が23万件で35億円である。</li> </ul> <p>謝礼商品は宮崎牛が人気で、ホームページのふるさと納税商品が見やすく参考にしてはどうか。</p>		
172	<p>P. 41について</p> <p>未婚者の結婚と定住の促進について取り上げているが、出会いの場や補助金の提供がなされても、正直厳しいのでは？結婚や居住に関する考え方の多様化の現状を徹底的に分析するべきではないか？</p> <p>いくら、補助金を出しても、職場環境の改善に努めても、即、それが結婚・定住の増加に結びつくわけではない。</p> <p>結婚適齢期を過ぎ、苦しんでいる市民に付け焼刃的に出会いの場を提供されても気分のいいものではない。</p> <p>つい先日、産経新聞で夫婦の年齢の調査をしたら同級生同士の割合が高いというデータがあるという解説を読んだ。未婚者が多くなったから、あわてて恩着せがましく出会いの場を提供したりするのではなく、市が結婚に関与していくなら、同窓会への積極的な支援とかにより、長期にわたって自然な形で出会いの場が「出来る」ようにするのがいいのでは。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-
173	<p>子育てしやすいまちづくり</p> <p>南あわじ市では、3歳以上の保育料無料化の取組により、他市からの移住も増えているものの、子供たちが楽しくのびのび遊べる広場・施設（レジャー）等を増やしてもらえると、地元や他県・他市からも足を運んでもらえると思う。</p> <p>また、出生率2.10を達成するとあるが、南あわじ市では婦人科・産婦人科等が無いに等しく、洲本市まで行かなくてはならないのは不便であり、洲本市の県病に集中し、平日しか受診できなく、働きに出ている人には大変不便だと思うので、婦人科等の医療機関を増やしてほしいと思う。</p>	<p>市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。</p> <p>また、婦人科・産婦人科等の不足に関するご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-
174	<p>観光・人口交流</p> <p>淡路島の特産物等は、様々なところでのPR効果によって有名になってきており、特産部目当てに観光に来てくれてはいるものの、観光地・レジャー施設が少なく、あっても少なく古く錆びれており、「食」だけでは来訪者増加は難しいと思うので、施設の増加改修が必要かと思う。</p>	<p>世界でも特異な自然現象である鳴門海峡の渦潮について、世界遺産への登録を推進することで、地域への関心や愛着をもった人づくりをめざしており、結果として観光地としての価値が高めまると考えております。</p> <p>一方で、市が所有する観光施設については、他の公共施設と合わせて今後大量更新時期を迎えます。人口が減少する中で、公共施設の更新や新たな施設の建設については、数十年単位で段階的に対応していくことが必要と考え、「公共施設統合管理計画」の策定を進めており、今後の施設のあ</p>	-

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		り方、老朽化対策を検討しているところです。	
175	<p>さまざまな法律の規制があると思いますが、高齢者や子育てにやさしい街づくりとして、保育園と老人介護施設等との連携(同一敷地内等)により、子供の情操教育や軽度の要介護者の認知に対する進行の遅れ対策にもなると思われる。</p> <p>人手については、独居老人等にボランティアを願うことにより人手不足と、独居老人等の孤立化の解消が図れる。</p> <p>又、産休や育休の女性がその施設を利用することにより施設にとっては保育・介護の支援者としての利益があり、女性にとってはいろいろな経験を聞くことにより出産・保育・他生活の悩みの解消につながるように思われる。このようなコミュニティーが広がれば、子育て・老後の問題も少しは解消でき、企業誘致や ターン・Uターンの条件にもなると思われる。</p>	<p>保育園と老人介護施設等との連携については、一部民間事業者において既に実施されており、行政としては、法令等に基づいて継続的に支援を実施しています。</p> <p>また、その他いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-
176	島内の人でも土日に島外に買い物に行く人が多い為、島内で魅力のあるレジャー施設の建設が必要であると思う。	市が所有する観光施設については、他の公共施設と合わせて今後大量更新時期を迎えます。人口が減少する中で、公共施設の更新や新たな施設の建設については、数十年単位で段階的に対応していくことが必要と考え、「公共施設統合管理計画」の策定を進めており、今後の施設のあり方、老朽化対策を検討しているところです。	-
177	南あわじ市はこども手当などが充実しているが、洲本イオンの前にある大きな公園のような、子供を安全に遊ばせることができる広い公園などを作り、子供を育てやすい環境を整える。	<p>市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。</p>	-
178	市役所の手続きの中で、住民票とかの原本をとるのはやめてほしい(何枚もとったらお金がかかる)	いただいたご意見については、総合戦略の記載内容に関連していないため、回答は控えさせていただきます。	-
179	イングランドの丘にもっと動物を増やしてほしい。	いただいたご意見については、総合戦略の記載内容に関連していないため、回答は控えさせていただきます。	-
180	地元食材を使用した料理を出すレストランを作してほしい。	いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
181	<p>農業振興地の解除を容易にする。</p> <p>遊休農地や耕作放棄地が増加しているのに、農業振興地の解除が難しく企業誘致や住宅建築のネックになっているように思われる。</p>	農業振興地域整備計画における農用地区域は、総合的に農業の振興を図るため、農業上の利用を確保すべき土地の区域を農用地区域として設定しており、企業誘致や定住人口の増加と同様に、本市の主要産業である農業を維持していくことも非常に重要であると考えており、農用地区域からの除外要件の緩和等については検討しておりません。	-
182	太陽光パネルの遊休地への設置が増えているが、太陽光パネルでは雇用の増加は見込めないで、将来的には様々な問題が出てくると思う。	いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
183	各所に分散されている施設(風呂等)をまとめることにより、大規模複合施設を設けて集客力を図り、南あわじ市の特色を出す。	市が所有する温浴施設については、他の公共施設とあわせて今後大量更新時期を迎えます。人口が減少する中で、公共施設の更新や新たな施設の建設については、数十年単位で段階的に対応していくことが必要と考え、「公共施設統合管理計画」の策定を進めており、今後の施設のあり方、老朽化対策を検討しているところです。	-
184	<p>観光地の増加</p> <p>淡路市に比べ、南あわじ市はまだまだ、観光地が少ない。</p> <p>車での移動が主になると思うので、観光地の効率の良いまわり方や、その道中のポイントが書いてあるマップがあると良い。</p> <p>SNSのタグ機能を使って、綺麗な写真をアップすると雰囲気伝わりやすく、興味を示すきっかけになるのではないかな。</p>	<p>SNSを利用した市の魅力発信などに取り組んでいきます。</p> <p>なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。</p> <p>基本目標Ⅲ</p> <p>4) 見力により南あわじ市の魅力を世界中に発信！(P51)</p>	51

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
185	ラウンドワンのようなレジャー施設やイオンのようなショッピングモールを建設して、子育てしやすい環境づくりをしてほしい。	本市の人口規模等を考慮すると『公の施設』としての建設については、大変難しいものと考えます。 なお、子育てしやすい環境づくりについては、基本目標Ⅳ「子育てしやすいまち」(P56)にも記載しているとおり、子育て支援に関するさまざまな施策をさらに強化し、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざします。	-
186	交通機関の整備 ① 兵庫県内を自由に行き来できるように電車を開通してほしい。(福良～三宮間) ② 高齢化が進む中、交通の便が少ないと思うので、らんらんバスや淡路交通の便を増やしてもらいたい。	らんらんバスの運行及びその他公共交通機関の整備等については、いただいたご意見を踏まえ、今後の市政運営への参考とさせていただきます。 なお、総合戦略では下記の施策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 13) 快適で住みやすいまちづくり (P38)	38
187	子供が自然と安全に遊べる公園を増やしてほしい。 産婦人科(土曜日にも診察あり)が欲しい。 小児科の休日対応してもらえ休日診療所が欲しい。	市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。 また、産婦人科、小児科の休日対応に関するご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
188	○人が集まる場所を作る ・学校(大学・専門学校等) ・ショッピングモールや映画館、ボーリング場 ・飲食店(チェーン店等)	本市においては、大学誘致を推進し、平成25年4月に「吉備国際大学地域創成農学部」が開学しています。本市の人口規模等を考慮すると新たな高等教育機関の誘致については、大変難しいものと考えます。 また、その他いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
189	○子育て支援の充実化と周知徹底 ・保育料・教育料(義務教育まで)の無料化 ・出産費用のバックアップ(アフターケア含む)	基本目標Ⅳ「子育てしやすいまち」(P56)にも記載しているとおり、子育て支援に関するさまざまな施策をさらに強化し、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざします。 また、いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	57
190	○公共交通機関の充実 ・バスの市営化(可能なら電車を通す) ・明石大橋・鳴門大橋を渡る方法の多様化と運賃の減額 E X) 電車を通す、徒歩や自転車・原付バイクでも通行可能にする	いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
191	医療機関の複合施設がほしい。 眼科、歯科、耳鼻科、皮膚科など色んな専門の医院が入っている施設があれば便利。 (洲本のTOPビルのような…)	いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
192	私の地元である湊地区は農村が比較的高台にあり商業地は低地にあるが、農地整備が進んでいることから若手の農業後継者も増えてきている反面、今後、地震や津波の影響を受ける比較的低地に住む住民は、高台の方へ住宅用地を探しているが農地整備した土地には農転が出来ない縛りがあるため住宅が建てられず、地元から離れ、洲本市、淡路市へ転居する住民もある。	南海トラフ地震が懸念されている中、本市ではこれまでの経験をもとに、防災ブック「もしもの備え」を発行するなど、災害に強い安全・安心なまちづくりのため、地域とともに防災対策に取り組んでいます。 あわせて、湛水被害の軽減についても取り組むこととしています。 一方、ほ場整備事業等により整備した農地については、農業振興地域として指定され、また、事業実施の際、国や県の補助金が充当されており、農地から宅地への転用はできません。 なお、総合戦略では下記の対策にて対応しています。 基本目標Ⅰ 1) 防災意識を高め、円滑な消防防災活動の推進 (P31)	33 35

## 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】に対するご意見と市の考え方

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	記載項
		3) 幹線道路や住宅地の湛水被害の軽減による交通機能の確保 (P33) 8) 安心・安全な漁港施設の整備 (P35)	
193	子供が安心して遊べる大きな公園を作ってほしい。	市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。	-
194	市役所のお昼休みの時も何でも対応してほしい。	いただいたご意見については、総合戦略の記載内容に関連していないため、回答は控えさせていただきます。	-
195	小さい子供も遊べる公園があれば嬉しい。	市内には、「淡路ファームパーク・イングランドの丘」や「淡路ふれあい公園」をはじめ、市民の憩いの場として17公園を設置しています。	-
196	子育てがしやすい街づくりに努力して、みんなで遊べる施設を作る。	基本目標Ⅳ「子育てしやすいまち」(P56)にも記載しているとおおり、子育て支援に関するさまざまな施策をさらに強化し、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざします。 また、いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	56
197	南あわじ市の観光に力を入れているが、今テレビ等でよく聞く山口組の暴力団の本部が、淡路島にあるという事で、淡路島のイメージが悪くなっている。 南あわじ市は、もちろん洲本市・淡路市とも協力をして問題解決に尽力して欲しい。	いただいたご意見については、総合戦略の記載内容に関連していないため、回答は控えさせていただきます。	-
198	洲本のレトロ小道のような場所やイベントがあれば、商店街の活性化になるのでは。	いただいたご意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
199	高齢化の問題が、ますます深刻になってくると思うので、その対策や地域の密着について考えてほしい。	高齢者福祉については、行政経営上重要であると考えており、施策等については継続的に実施しております。しかし、総合戦略では各行政分野の施策を網羅的に盛り込むのではなく、「若者」や「子育て世代」をターゲットとして絞り込み、本市の戦略として展開することとしております。	-
200	子育ての分野では、休日夜間診療が市外になっている時もあり、急な体調変化の時は、やはり不安を強いられるので、市内での開設を強く要望する。	いただいた意見については、今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
201	P39 I-15 人口減少や住民ニーズなどに対応した公共施設等総合管理 公共施設の維持・管理について、人口減少が避けられない中では洲本市、淡路市と連携し、早急に統廃合及び移動手段の確保を図って頂きたい。 淡路島に1つあれば済む施設が3つあっても無駄である。『せっかくあるから活用する』という考え方では、運用費用や維持費用が延々とかかってしまいます。若い世代に負担を押し付けず、今から切れるものは切って頂ければ幸いである。	本市においては、これまで整備してきた公共施設の大量更新時期を迎えます。人口が減少する中で、すべての公共施設を短期間で更新するとともに、新たな公共施設を整備していくことは、財政上不可能と考えられます。そのため、数十年単位で段階的に対応していくことが必要と考え、「公共施設統合管理計画」の策定を進めており、今後の施設のあり方、老朽化対策を検討しているところです。 また、淡路島3市による連携については必要と考えますが、まずは基礎自治体として取り組みを進めます。	-
202	P56 子育て支援の促進 岡山県奈義町の合計特殊出生率が、2.81と高い。支援メニューを見れば南あわじ市がダントツに負けているわけでもない。職員を派遣して学んでくることはできないか？ 参考：奈義町HP <a href="http://www.town.nagi.okayama.jp/">http://www.town.nagi.okayama.jp/</a>	ご紹介いただきました岡山県奈義町の事例を踏まえ、子育て支援への活用等今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-
203	P40 移住・定住の促進 島根県海士町では島民の約1割を若い移住者が占めています。それも、大企業を辞めてまで来た人や高学歴の人もいるそうだ。 町長をはじめ職員の給与カットから、産業振興、移住者支援（選択と集中）。追い詰められたからこそ踏み切れた改革だったと考えられるが、今後の参考になるのではないか。	ご紹介いただきました島根県海士町の事例を踏まえ、移住・定住施策等今後の市政運営への参考とさせていただきます。	-